

平成 2 8 年度

第 3 回大分県教育委員会 議事録

日 時 平成 2 8 年 5 月 1 0 日 (火)
開会 1 3 時 3 5 分 閉会 1 4 時 4 1 分

場 所 教育委員室

平成 2 8 年度
第 3 回大分県教育委員会

【議 事】

(1) 議 案

第 1 号議案 教職員の懲戒処分について

第 2 号議案 大分県社会教育委員の委嘱について

(2) 報 告

平成 2 8 年 4 月 1 6 日以降発生地震に伴う災害情報及び対応状況
について

平成 2 9 年度（平成 2 8 年度実施）教員採用試験実施要項について

平成 2 8 年 3 月高等学校新規卒業者の就職状況の推移について

県立高校農林水産系学科の取組について

平成 2 8 年度大分スーパーサイエンスコンソーシアム開始式及び
グローバルリーダー育成塾について

(3) 協 議

平成 2 8 年度海事職採用選考の実施について

(4) その他

【内 容】

1 出席者

委 員	教育長	工 藤 利 明
	委員	林 浩 昭
	委員	岩 崎 哲 朗
	委員	松 田 順 子
	委員	首 藤 照 美
	委員	高 橋 幹 雄

欠席委員なし

事務局	教育次長	宮 迫 敏 郎
	教育次長	岩 武 茂 代
	教育次長	木 津 博 文
	教育改革・企画課長	能 見 駿一郎
	教育人事課長	藤 本 哲 弘
	教育財務課財務企画監	首 藤 圭
	福利課長	中 村 均 子
	義務教育課長	米 持 武 彦
	生徒指導推進室長	樋 口 哲 司
	特別支援教育課長	後 藤 みゆき
	高校教育課長	姫 野 秀 樹
	社会教育課長	曾根崎 靖
	人権・同和教育課長	甲 斐 順 治
	文化課長	佐 藤 晃 洋
	体育保健課長	井 上 倫 明
	屋内スポーツ施設建設推進室長	山 上 啓 輔
	教育改革・企画課主幹	伊 藤 功 二
	教育改革・企画課主査	石 丸 一 輝

2 傍聴人

4 名

開会・点呼

(工藤教育長)

それでは、委員の出席確認をいたします。
本日は、全委員が出席です。

ただいまから平成28年度 第3回教育委員会会議を開きます。

署名委員指名

(工藤教育長)

本日の議事録の署名委員でございますが、岩崎委員にお願いしたいと思っております。

会期の決定

(工藤教育長)

本日の教育委員会会議はお手元の次第のとおりです。
会議の終了は15時05分を予定しています。
よろしく申し上げます。

議 事

(工藤教育長)

はじめに、会議は原則として公開することとなっておりますが、会議を公開しないことについてお諮りします。

第1号議案、第2号議案及び協議の については、人事に関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項ただし書の規定により、これを公開しないことについて委員の皆さんにお諮りいたします。

公開しないことに賛成の委員は挙手をお願いします。

(採 決)

それでは、第1号議案、第2号議案及び協議の については、非公開といたします。

本日の議事進行は、はじめに公開による議事を行い、次に非公開による議事を行います。

【報 告】

平成28年4月16日以降発生地震に伴う災害情報及び対応状況について

(工藤教育長)

それでは、報告第1号「平成28年4月16日以降発生地震に伴う災害情報及び対応状況について」能見教育改革・企画課長から報告いたします。

(能見教育改革・企画課長)

報告第1号「平成28年4月16日以降発生地震に伴う災害情報及び対応状況について」報告いたします。

前回4月19日の教育委員会会議において地震の概要及び地震発生直後の被害状況についてご報告したところですので、今回はその後の状況や県教育庁の対応状況について説明いたします。

資料1ページをご覧ください。「2 教育関係災害情報」ですが、前回報告と同様に、学校管理下における児童生徒等の人的被害については確認されておりません。

「2 . 学校、施設、文化財等の被害状況」ですが、昨日現在で取りまとめております。「(1) 学校」については、時間の経過につれて詳細な現地確認が行われた結果、新たな被害が報告され、幼稚園から特別支援学校まで計83件の被害が確認されております。これは4月19日の報告から37件の増加となっています。詳細は4ページから5ページにかけて「別添1」を付けていますが、主に校舎や校庭の亀裂、窓ガラス破損等の一部損壊です。

次に「(2) 社会教育施設等」ですが、詳細は6ページから7ページの「別添2」をご覧ください。県立図書館や県立総合体育館等の県管理施設、市町村の公民館や体育施設等の市町村管理施設、併せて52件の被害が確認されています。これは前回より32件増えています。「(3)

文化財」については、詳細は8ページから9ページにかけて「別添3」を付けています。国指定文化財の一部損壊12件など計36件が確認されています。比較的被害の大きい箇所につきましては、別冊で写真を添付しております。回覧しますのでご覧いただければと思います。

次に「3.学校・施設の休校等」ですが、地震発生直後の18日(月)から22日(金)までの間、点線枠内に記載のとおり臨時休校の措置が取られました。25日(月)からは一部学校で耐震工事未了のため場所を替えて授業を行っている学校がありますが、すべての学校で通常通りの登校となっています。

次に「4.県教育庁の主な対応」ですが、これまで被害情報の収集と合わせ、「児童生徒、学校施設等の安全・安心の確保」を最優先に、「児童生徒等の心のケア」、「就学機会の確保」、「被災文化財の状況把握、復旧支援」等に対応してきたところです。主なものとしては、「安全・安心の確保」では、文科省通知を受けて、施設の安全確保等について県立学校、市町村教育委員会に連絡・要請するとともに、地震発生直後の土日における各種大会や部活動の自粛を要請しています。また、「児童生徒の心のケア」については、被災地域の県立学校や市町村教育委員会に対してスクールカウンセラーの緊急派遣の打診を行い、既に由布高校や由布支援学校、竹田、日田、由布、玖珠の各市町に増員派遣を行っております。被災文化財については、4月25日、26日の両日、文化庁と共同の被害確認調査を実施したところです。

「その他の対応」としましては、4月27日に岩武教育次長及び関係課長が文科省関係部局へ被害状況・対応状況の報告に出向いたほか、4月29日の安倍総理来県の際には、学校施設や文化財の復旧支援を含め、県として緊急要望を行いました。

最後に「5.その他」ですが、主なものとして、熊本県からの被災による転入や一時避難に伴う体験入学として昨日現在で計17名を受け入れております。3つ目の「」、全国学力・学習状況調査では、竹田市、由布市、九重町の計30校において当日の実施が見送られ、後日実施済となっています。

以上、地震に伴う教育関係の被害及び対応状況について報告させていただきました。今後とも国の支援も得ながら、復旧・復興に万全を期してまいります。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(林職務代理者)

香々地青少年の家について、国東半島地域は震度4くらいだったと思いますが、今回被害が出ており、全体的な改修が必要なのかなと思いましたが、どうでしょうか。

(曾根崎社会教育課長)

香々地青少年の家では、特に大きな被害はありませんでしたが、雨漏りが起きていることから、そういった箇所を応急的に処置をして対応していきたいと考えています。震源から遠いということもあって、すでに学校の利用が進んでいます。

(林職務代理者)

地震の影響で雨漏りするようになったということでしょうか。

(曾根崎社会教育課長)

雨漏りは地震の前も少しあり応急処置をしていましたが、地震の影響でまた雨漏りがするようになったということです。

(高橋委員)

施設面の被害はわかりましたが、子どもたちの心理的な影響は出ていないですか。

(樋口生徒指導推進室長)

面接を行った児童生徒の様子を伺いますと、夜眠れなかったり、食が細くなったり、親に甘えがちになったりといった部分もありましたが、カウンセリングを続けるうちにだいぶ回復しつつあると判断しているところです。

(高橋委員)

熊本の方では授業を再開した後、子どもたちに心理的な影響もあるようなので、できるだけそういったサポートをお願いしたいと思います。

(岩崎委員)

児童生徒、学校施設の安全・安心の確保として、文科省通知が出されているようですが、この具体的内容について教えてもらえますか。

(能見教育改革・企画課長)

確認の上、後ほど説明させていただきます。

(岩崎委員)

耐震化がだいぶ進んだことから、被害がこの程度でとどまったと考え

られますので、この点は評価できると思います。なお、建物等が被害を受けていて、今後余震等で倒壊するようなことがあると大変ですので、専門家の調査や検査のようなものが必要ではないかと思いますが、それぞれの学校施設等について、そういった調査は行われているのでしょうか。安全性の確保はどのように行われるのでしょうか。

(首藤教育財務課財務企画監)

文部科学省で専門家の派遣が決まっており、5月下旬に建築の専門家が被害の大きいところや、構造体の被害が懸念される場所について調査をする予定となっています。主に県立学校につきましては、当課に建築士がいますので、被害の大きいところは見て回っています。県立学校の中では、構造体まで影響が及んでいるような被害は現在確認されていません。

(工藤教育長)

熊本も含めて全体の被害を見た上で、国としてどう対応するかということが出されるのではないかと思います。私も現地を見させていただきましたが、今のところはこの程度で収まっているということだと思います。

平成29年度(平成28年度実施)教員採用試験実施要項について

(工藤教育長)

次に、報告第2号「平成29年度(平成28年度実施)教員採用試験実施要項について」藤本教育人事課長から報告いたします。

(藤本教育人事課長)

報告第2号「平成29年度(平成28年度実施)教員採用試験実施要項について」報告いたします。

4月に2度教育委員会会議でご協議をいただいた平成29年度大分県公立学校教員採用選考試験の実施要項がお手元の冊子のとおりにまとまりました。5月6日に県教育委員会のホームページで公表するとともに、同日午後報道発表、5月9日午後から実施要項の配布を行っています。

お手元に別冊でお配りしております募集案内とともに、県内外の受験希望者を対象に開催する実施要項説明会で資料として配布し、試験内容の周知を図るとともに受験者数の確保につなげたいと考えています。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある

方はお願いします。

(工藤教育長)

ございませんでしょうか。
では、次の報告に移ります。

平成28年3月高等学校新規卒業者の就職状況の推移について

(工藤教育長)

次に、報告第3号「平成28年3月高等学校新規卒業者の就職状況の推移について」姫野高校教育課長から報告いたします。

(姫野高校教育課長)

報告第3号「平成28年3月高等学校新規卒業者の就職状況の推移について」報告いたします。

資料の「1 就職内定率推移(月別)」をご覧ください。この表は就職内定率の月毎の推移をあらわしたものです。3月末の就職内定状況は99.2%であり、昨年度比0.1%の上昇となりました。これは、景気の回復基調による求人数の増加もありますが、各学校において生徒の希望進路に応じたきめ細やかな指導の成果であると考えています。

次に、「2 県内就職状況」についてです。就職内定者のうち県内で内定した者の割合は73.8%で、昨年度同期と比べ0.8%の上昇となっています。

次に、「3」の表は就職未内定者数を月毎に表したものです。3月末の未内定者数は22名となっており、昨年度より2名の減少となっています。4月の調査によりますと、未内定者の22名の内2名が内定しており、未内定者については卒業後も各学校の卒業生相談窓口等が中心となり、生徒の希望進路達成に向け、ハローワークや支援サポートセンターと連携し、引き続き就職支援を行っているところです。

昨年度は資料下に記した～を実施し、生徒の就職支援を行いました。このうち～は当課と大分労働局、商工労働部との連携で取り組んでいるものです。

本年度も各学校が生徒一人一人の進路希望の実現に向け、きめ細やかな進路指導を行えるよう支援してまいります。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(高橋委員)

熊本地震の影響で別府の観光関係の職種で就職内定率が落ちるかもしれませんが、観光関係の就職活動を行っていく場合、商工労働部等と連携を密にして、フォローアップしていただきたいと思います。

(姫野高校教育課長)

先日、大分労働局、経済団体、商工労働部、教育委員会等で構成する新規高等学校卒業生就職問題連絡会議がありました。その会議においても、委員がおっしゃったように、生徒の就職に熊本地震の影響がないよう協議等がありました。今後、各企業にお願いしていきたいと考えています。

(高橋委員)

よろしく申し上げます。

(林職務代理者)

今回、報告があった就職状況には、例えば実家の家業を継ぐ生徒も含まれているのでしょうか。それとも、企業に就職した生徒だけでしょうか。

(姫野高校教育課長)

この資料は大分労働局のデータを元にしていきますので、紹介就職の生徒のみとなっています。

(林職務代理者)

未内定者の22名は紹介就職を希望していたけれども、残念ながら決定しなかったということですか。

(姫野高校教育課長)

はい、そうです。

県立高校農林水産系学科の取組について

(工藤教育長)

次に、報告第4号「県立高校農林水産系学科の取組について」姫野高校教育課長から報告いたします。

(姫野高校教育課長)

報告第4号「県立高校農林水産系学科の取組について」昨年度から取り組んでおります「地域産業を担う農林水産高校生育成事業」の1年間

の成果を報告いたします。

資料1ページ「取組内容」の「1」をご覧ください。まず、各学校に生産者や企業、行政、学校による成長産業化推進リーダー育成協議会を設置し、地域産業界との協力体制の構築を目指し取組を進めました。

資料2ページをご覧ください。これは昨年度の1年間の取組を冊子として整理し、各学校の取組を知ってもらうために農林水産部などの関係機関に配布したものです。

資料7ページをご覧ください。農林水産系学科の設置校と学科名、そこで学習できる内容と地域の特産品、また、右下には各校における特色づくりを記載しています。今後も地域産業界と連携して各地域の特色を活かした特産品の学習が行われるように進めていきたいと考えています。

8ページからは、各学校の昨年1年間の主な取組を載せています。例えば、国東高校ではアレグリーという会社と連携しコネギ栽培の見学や実習を行いました。大分東高校では、小学校との連携ということで、リボンベジタブルの活動を行っています。以下、農林水産系高校の振興局との連携、出前授業などの取組を紹介して、学校ごとの取組内容を共有できるような冊子としています。

23ページには振興局の配置の状況、24ページには就農学校・ファーマーズスクールの設置状況を掲載しています。27ページ以降は各学校のホームページに掲載している学校案内を載せています。

資料1ページにお戻りください。以上のような取組の成果を3点まとめています。1つ目は、地域との連携の強化や学校の特色作りに向けた体制が構築されたこと、2つ目として、各学校が切磋琢磨し大会等で上位入賞をねらう雰囲気醸成されてきたこと、3つ目として、農業科から国公立4年制大学へ平成23年以来4年ぶりに合格者があったこと、この3点を成果としてあげています。

委員の皆様のお手元に「リーダーシップ」という冊子をお配りしています。これは全国9万人の農業クラブ員の会員誌ですが、その中に大分県から2校、玖珠美山高校と大分東高校の取組が紹介されておりますので、ご覧いただければと思います。玖珠美山高校はパークを活用した循環型農業の研究、大分東高校は先ほども紹介させていただきました野菜の再生栽培による生ゴミ減量についての研究です。このように同一県から2校が掲載されることはめったにないため、紹介させていただきました。

以上でございます。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(松田委員)

すでに進路指導として発信していると思いますが、中学生の募集に関するPRについて、もっと中学生が行きたいと思うような発信が必要ではないかと思います。高校生は大学の資料を見ているが、中学生も高校の資料を見ているので、中学生が見て、行きたいと思うようなことをPRすればよいと思います。

また、玖珠美山高校は、玖珠農業高校の頃から近隣の幼稚園や保育園を訪問し、子どもたちや先生方に花づくりや土いじりなどの指導をしており、この活動がすごく喜ばれています。小さい頃から農業に親しむという取組のおかげで、子どもたちが花づくりなどを喜んで行うようです。それが玖珠美山高校への進学につながる場所があるのかどうかはわかりませんが、こういった取組を学校挙げて行ってほしいと思います。

(姫野高校教育課長)

研究してまいりたいと思います。

(林職務代理者)

農業大学校との連携が全県下で進んでいると思いますが、高校生にとって農業大学校とはどのような位置付けになっていますか。

(姫野高校教育課長)

農業高校では、3年間チームで農業の課題研究であったり、栽培を学んだりしていますが、農業大学校では、個人で一つの圃場やハウスで実践的な研究などを行っています。農業高校には、農業大学校は高いスキルを学びに行くところという位置付けがあります。また、最近では、農業大学校で学びたいという普通科出身の生徒も増えています。

平成28年度大分スーパーサイエンスコンソーシアム開始式及びグローバルリーダー育成塾について

(工藤教育長)

次に、報告第5号「平成28年度大分スーパーサイエンスコンソーシアム開始式及びグローバルリーダー育成塾について」姫野高校教育課長から報告いたします。

(姫野高校教育課長)

報告第5号「平成28年度大分スーパーサイエンスコンソーシアム開始式及びグローバルリーダー育成塾について」報告いたします。

資料2ページをご覧ください。「大分県からノーベル賞科学者を！」

を合い言葉に大分県の理数教育の充実・発展のため、平成22年度にSSH(スーパーサイエンスハイスクール)である大分舞鶴高校が拠点となって、大分上野丘高校、大分豊府高校の3校30人でスタートした取組です。枠の中に書かれていますように、「科学講演会」や「県外科学研修」、「課題研究」に生徒が取り組みます。昨年度は、19校165人までその輪が広がりました。平成28年度のスタートにあたる開始式を5月14日(土)に大分県教育センターで実施いたします。現時点では、資料段階よりも2校増え、21校225人の参加となる予定です。「5

日程」にありますように、「科学特別講演会」、その後「開始式」という企画をしていますので、教育委員の皆様方におかれましても、ご都合がつかましたら、ご参加いただければと思い紹介させていただきました。

続いて、資料3ページ「グローバルリーダー育成塾」について説明いたします。この育成塾は、本年度から実施する「グローバル人材育成推進事業」の中心に位置付けられるもので、年間5回にわたり、世界へ挑戦するリーダーとしての素養の育成に向けて、世界で活躍する講師による講演や、生徒同士の意見交換、東京研修等を実施するものです。第1回については、5月22日(日)に県庁舎新館大会議室で実施いたします。内容につきましては、基調講演としてグーグル日本法人元名誉会長の村上氏を講師に迎え基調講演を行います。その後、大分上野丘高校の生徒によるスーパーグローバルハイスクールの取組についての発表が行われます。また、午後には「私たちが考える大分県のグローバルプラン」と題しまして、大分県の海外戦略やグローバル人材育成について高校生視点での協議を行います。その後、発表・提言を行い、広瀬知事から講評をいただく予定になっています。4ページ以降につきましては、この後実施される5回分の内容を示しています。高校生による熱心な協議が行われると思いますので、委員の皆様方のご参加もお待ちしております。よろしくお願いいたします。

(工藤教育長)

ただ今説明のありました報告につきまして、ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(林職務代理者)

資料4ページの第2回で講演が予定されている国際協力関係機関職員というのは、どのような方に依頼するのですか。

(姫野高校教育課長)

今考えているのはJICAの職員等です。また、先日実施した留学フェアでは、在福岡オーストラリア領事館の方に講師をお願いしました。こうした方々にお話をいただければと考えています。

(首藤委員)

参加する際には、意思表示が必要ですか。

(姫野高校教育課長)

特に必要ございませんが、希望がございましたら、ご連絡いただければと思います。

(工藤教育長)

それでは、先に非公開と決定しました議事を行います。その前に、公開でその他、何かございませんか。

【その他】

平成28年4月16日以降発生地震に伴う災害情報及び対応状況について

(能見教育改革・企画課長)

先程、「報告」で岩崎委員からご質問のありました文教施設の安全確保に関わる文科省通知について報告いたします。

正確には4月15日付けで事務連絡が出ています。内容につきましては、各設置者において被災の状況等の実情に応じて天井材、照明器具等の非構造部材の落下等による二次災害の防止のため、施設・設備の安全点検等をできるだけ早急に行い、安全性の確保に努めていただきたいという内容になっています。この事務連絡を受けまして、教育財務課から県立学校、市町村教育委員会に対して連絡・要請しています。

(松田委員)

南海トラフ地震に対しては、大分県もかなり用意周到に準備をしていると思いますが、多くの学校が避難所に指定されていて、学校が授業を再開する際に避難所の扱いが難しいことから、教育関係として学校教育と避難所の在り方等を考えてもいいのかなという気がしています。例えば、アメリカでは避難所として病院等に大きい船を準備している例もあると聞きますし、できるだけ学校教育に支障のないような避難所についても少し考えていかなければいけないのかなと思います。

(工藤教育長)

まだ完全収束とはいきませんが、災害対策本部会議を10回開催し、また関係部長会議も数回開く中で、課題や改善点等についていろいろ気

付くところがあります。今後、そういったところを調整して改善していくことになると思います。今回、大きな地震が2回続けて来たということで、これまでと状況がちょっと違う面もあります。ハード面や子どもたちに対する対処の仕方、避難誘導等のソフト面の在り方等でいろいろ見えてきた部分もあり、これは教育委員会だけでなく、県庁全体で一度整理することになると思います。

(首藤委員)

これは、教育委員としては言いにくいんですが、まずは児童生徒のことが最優先だろうと思いますけれども、教職員の中には被災地で単身でアパートを借りたり、家族で湯布院や庄内等に引っ越して住んでいる方もいて、その中には2度の地震で家の中は目茶苦茶になっても、まずは学校(が優先)ということで奥さんの実家に移って、そこから通勤している人もいます。湯布院に勤めている店員さんなど会社員の方々は、その間だけは通勤費や住居手当など別に出すなど、二重に手当を出しているところもあるようです。県や市町村の教育委員会でも、難しいとは思いますが、そういった各個人個人の事情を調査をして、特別な手当が必要な人に対しては手当をお願いしたいと思います。

(工藤教育長)

教育人事課長から、その点について何か考えはありますか。

(藤本教育人事課長)

今回の地震で、高速道路が通行できなくなったことに伴って通勤経路が変更した場合の通勤手当の考え方についての通知は出していますが、住居の変更については通常に対応になると思います。

(工藤教育長)

他にございませんでしょうか。

では、先に非公開と決定しました議事を行いますので、関係課室長のみ入室とし、その他の課室長及び傍聴人は退出してください。

(関係課以外及び傍聴人退出)

【議案】

第1号議案 教職員の懲戒処分について

(工藤教育長)

それでは、第1号議案「教職員の懲戒処分について」提案しますので、藤本教育人事課長から説明いたします。

(説明)

(工藤教育長)

ただ今、説明のありました議案について審議を行います。ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

それでは、第1号議案の承認についてお諮りいたします。第1号議案について承認される委員は挙手をお願いします。

(採決)

(工藤教育長)

第1号議案については、提案どおり承認します。

第2号議案 大分県社会教育委員の委嘱について

(工藤教育長)

次に、第2号議案「大分県社会教育委員の委嘱について」提案しますので、曾根崎社会教育課長から説明いたします。

(説明)

(工藤教育長)

ただ今、説明のありました議案について審議を行います。ご質問・ご意見等のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

それでは、第2号議案の承認についてお諮りいたします。第2号議案について承認される委員は挙手をお願いします。

(採決)

(工藤教育長)

第2号議案については、提案どおり承認します。

【協 議】

平成28年度海事職採用選考の実施について

(工藤教育長)

それでは、協議の「平成28年度海事職採用選考の実施について」
藤本教育人事課長から説明いたします。

(説 明)

(工藤教育長)

ご質問・ご意見のある方はお願いします。

(質疑・意見等)

(工藤教育長)

それでは、今回の協議の結果も踏まえながら、進めてまいりたいと思
います。

(工藤教育長)

それでは、最後にその他、何かございませんか。
ないようですので、これで平成28年度第3回教育委員会会議を閉会
します。

お疲れ様でした。

平成28年度第3回大分県教育委員会会議次第

日時 平成28年5月10日(火)

13:35～15:05

場所 教育委員室

1 開 会

2 署名委員の指名

3 議 題

(1) 議 案

第1号議案 教職員の懲戒処分について

第2号議案 大分県社会教育委員の委嘱について

(2) 報 告

平成28年4月16日以降発生地震に伴う災害情報及び対応状況
について

平成29年度(平成28年度実施)教員採用試験実施要項について

平成28年3月高等学校新規卒業者の就職状況の推移について

県立高校農林水産系学科の取組について

平成28年度大分スーパーサイエンスコンソーシアム開始式及び

グローバルリーダー育成塾について

(3) 協 議

平成28年度海事職採用選考の実施について

(4) その他

4 閉 会

平成28年4月16日以降発生地震に伴う災害情報及び対応状況について

1 地震の概要

平成28年4月16日(土)01時25分発生
 震源地 熊本県熊本地方 M7.3(暫定)
 震度6弱 別府市、由布市
 震度5強 豊後大野市、日田市、竹田市、九重町
 震度5弱 大分市、臼杵市、津久見市、佐伯市、玖珠町

2 教育関係災害情報及び対応状況 (平成28年5月9日現在)**1. 児童生徒等の人的被害**

(学校管理下における)人的被害なし

2. 学校、施設、文化財等の被害状況**(1) 学校** [計: 83件] (別添1)

幼稚園	一部損壊	4件	高等学校(県立)	一部損壊	15件
小学校	一部損壊	27件	(市立)	一部損壊	1件
中学校	一部損壊	17件	(私立)	一部損壊	5件
学校給食施設	その他被害	3件	特別支援学校	一部損壊	11件

(2) 社会教育施設等 [計: 52件] (別添2)

県管理	一部損壊	5件	市町村管理	一部損壊	47件
-----	------	----	-------	------	-----

(3) 文化財 [計: 36件] (別添3)

国指定文化財	一部損壊	12件	県指定文化財	一部損壊	17件
国登録文化財	一部損壊	7件			

3. 学校・施設の休校等 (4月25日以降 臨時休校等の学校・施設はない)**【学校】****(臨時休校)****18日(月)**

臨時休校36校 (公立: 幼9、小17、中4、高4、特1、私立: 高1)
 由布市立、九重町立の全ての幼・小・中学校臨時休校
 別府青山・翔青、由布、玖珠美山、三重総合高校久住校 臨時休校
 由布支援学校、別府溝部学園高校 臨時休校

19日(火)

臨時休校32校 (公立: 幼5、小18、中7、高1、特1)
 竹田市立、九重町立の全ての幼・小・中学校 臨時休校
 別府羽室台高校、由布支援学校 臨時休校

20日(水)~ 21日(木)

臨時休校 1校 (公立: 特1)
 由布支援学校 臨時休校

22日(金)

臨時休校 3校 (公立: 小1、中1、特1)
 日田市立津江小学校・津江中学校 臨時休校
 由布支援学校 臨時休校

4月20日(水)～ 竹田市立城原小学校

- ・校舎は耐震補強工事实施中(9月末完了予定)のため、授業は体育館で実施(市教委で今後の余震等を総合的に考慮して当面は体育館での授業を継続)
- ・特別支援学級の児童1名が21日(木)から広島へ避難(5/6まで)

4月20日(水)～ 大分市立住吉小学校、中島小学校

- ・耐震性が十分に確保できていないため、代替施設で授業を実施

4月25日(月)～ 別府市立別府商業高校

- ・別府商業高校の校舎・体育館が地震により使用困難(耐震工事未実施)
- ・市はプレハブ校舎の設置で対応するが、設置までの間、別府翔青高校の管理棟2教室(会議室及び選択教室)を利用

【施設】

(臨時休館)

4月16日(土)～17日(日) 県立総合体育館、庄内屋内競技場 臨時休館

4月17日(日) 県立図書館、先哲史料館、社会教育総合センター 臨時休館

4月18日(月) 県立図書館、先哲史料館 定期休館日

社会教育総合センター 臨時休館

4月19日(火)～24日(日) 県立図書館、先哲史料館 臨時休館

(25日(月)は定期休館日)

(利用中止・延期)

- ・地震発生以降、大型連休明けまで、以下の社会教育施設における学校や団体の利用の多くが中止又は延期

県管理：社会教育総合センター、香々地青少年の家、九重青少年の家、マリンカルチャーセンター

市町村管理：のつはる少年自然の家、別府市少年自然の家おじか、ゆふの丘プラザ 等

4. 県教育庁の主な対応

児童生徒、学校施設等の安全・安心の確保

- ・文科省通知を受けて、以下の事項について県立学校、市町村教育委員会へ連絡・要請
 - * 文教施設の安全性確保について(16日)
 - * 避難場所としての学校施設等の提供について(16日)
 - * 被災施設の応急危険度判定への支援について(18日)
- ・中学・高校へ部活動の自粛要請、各競技団体に対して大会自粛を要請(16日)

児童生徒等の心のケア

- ・被災地域の県立学校及び市町村教育委員会にスクールカウンセラーの緊急派遣を打診(20日)
- ・「災害後のこころのケアハンドブック」の配布(公立小中高、特別支援学校)(25日)
- ・スクールカウンセラーの増員派遣
 - 県立由布高校へ2名派遣(26日)、1名派遣(28日)
 - 竹田市立直入小、白丹小、宮城台小、豊岡小学校へ2名派遣(26日～27日)
 - 日田市立五馬中学校へ1名派遣(28日～29日)
 - 県立由布支援学校へ1名派遣(28日)
 - 由布市立由布院小学校へ3名派遣(5月2日～5月6日)
 - 玖珠町立森中央小学校、森中学校へ1名派遣(5月6日)

就学機会の確保

- ・文科省通知を受けて、以下の事項等について取組を促すよう県立学校、市町村教育委員会へ連絡・要請（18日）
 - 被災した児童生徒等の学校への受入
 - 被災した児童生徒等への教科書の無償給与
 - 児童生徒の入学料や就学支援金等の弾力的な取扱・措置
 - 修了認定や補充のための授業等への配慮
- ・被災地域の生徒に対する入学料及び入学考査料の減免について各県立学校へ通知（22日）
- ・被災した生徒に対する高等学校奨学金緊急採用及び奨学金返還猶予制度についてホームページを通じて周知（26日）

被災文化財の状況把握、復旧支援

- ・被害を受けた考古資料等の保全措置について、市町村教育委員会へ通知（18日）
- ・文化庁と共同して被害確認調査を実施（25日～26日）

その他

- ・熊本地震に係る被害状況・対応状況について文部科学省関係部局へ報告（27日）
- ・安倍総理の地震被害に関する視察来県時に、学校施設や文化財の復旧支援について緊急要望（29日）
- ・復旧作業員の待機地として旧緒方工業高校体育館を九州電力へ貸付（17日～30日）

5. その他

熊本県から大分県への被災による転入、一時避難に伴う体験入学〔9日現在計：17名〕

{	転入	9名（小学校6名(4校)、中学校3名(2校)）
	体験入学	8名（小学校5名(3校)、中学校3名(2校)）

大分県から他県への被災による一時避難に伴う体験入学〔9日現在計：4名〕

北九州市へ 小学校2名（1校）、中学校2名（1校）

全国学力・学習状況調査（19日実施）

- ・由布市の小学校 4校、中学校1校は後日実施（4月26日（火）までに実施）
 - ・竹田市の小学校12校、中学校6校は後日実施（4月27日（水）に実施）
 - ・九重町の小学校 6校、中学校1校は後日実施（4月27日（水）までに実施）
- 実施可否（予定通り実施、後日実施、不参加）は、学校の状況を最優先して市町村教委が判断

地震対応にかかる避難訓練（大分市、22日実施）

- ・市立幼（18園）、小（48校）、中（18校）で地震を想定した避難訓練を実施

日田高校外国語指導助手の地震による早期帰国

校長面談等を経て22日（金）に退職願あり。欠員は7月頃補充予定

訪日教育旅行

- | | | |
|-------------------|----------|-------|
| ・韓国教職員視察（韓国教員大学校） | 5月 6日（金） | 延期 |
| ・韓国高校交流（慶福ビジネス高校） | 5月12日（木） | 予定 中止 |
| ・台湾高校交流（小港高級中学校） | 5月25日（水） | 予定 延期 |

国体九州ブロック大会クレー射撃競技の県内開催

- ・平成28年度国民体育大会九州ブロック大会のクレー射撃競技について、熊本県総合射撃場（上益城郡益城町）での開催困難に伴い、8月27日（土）～28日（日）に大分射撃場にて開催予定

5月9日までの学校等被害状況

【幼稚園】（4件）

	施設名	市町村	被害状況
1	東山幼稚園	別府市	浄化槽や校舎周辺に陥没、隆起、ずれあり
2	由布川幼稚園	由布市	2階ホール時計破損、壁亀裂
3	由布院幼稚園	由布市	体育館ドア破損、体育館・渡り廊下内壁亀裂
4	石城幼稚園	由布市	遊戯室天井・柱亀裂

【小学校】（27件）

	施設名	市町村	被害状況
1	川崎小学校	日出町	プール水漏れ
2	亀川小学校	別府市	給食室消毒機械破損
3	鶴見小学校	別府市	体育館天井、ステージの電灯ぶら下がり
4	東山小学校	別府市	浄化槽や校舎周辺に陥没、隆起、ずれあり
5	敷戸小学校	大分市	トイレ内壁タイルの剥落
6	宗方小学校	大分市	屋内漏水
7	下郡小学校	大分市	渡り廊下天井及び床の変形
8	石城小学校	由布市	校舎内壁亀裂、体育館天井剥離
9	由布川小学校	由布市	理科室薬品庫破損・液漏れ（薬品処理済）
10	阿南小学校	由布市	校舎・体育館外壁・内壁亀裂、給水タンク漏水、運動場割れ等
11	由布院小学校	由布市	渡り廊下亀裂、運動場亀裂、排水枡破損、階段・スロープ破損
12	塚原小学校	由布市	下駄箱破損、図書館本棚破損
13	狭間小学校	由布市	渡り廊下亀裂、校舎接続部ずれ
14	川西小学校	由布市	渡り廊下床隆起
15	西庄内小学校	由布市	壁亀裂多数、体育館天井ずれ、石膏ボード剥離
16	豊岡小学校	竹田市	校舎内壁亀裂
17	祖峰小学校	竹田市	フェンス下コンクリ破損
18	宮城台小学校	竹田市	水道タンク漏水
19	城原小学校	竹田市	グラウンドひび割れ、外階段ひび、天井はがれ、廊下亀裂
20	都野小学校	竹田市	体育館外壁の一部崩壊
21	清川小学校	豊後大野市	エアコンカバー4台落下
22	いつま小学校	日田市	管理棟外回り電線垂れ下がり
23	日隈小学校	日田市	管理教室壁面に亀裂
24	石井小学校	日田市	教室棟階段の壁、床、外壁にクラックの広がり
25	日出生小学校	玖珠町	教室設置の時計落下・破損
26	東飯田小学校	九重町	水道管破損、トイレタイル一部剥離、校舎内壁一部亀裂
27	野上小学校	九重町	廊下天井カバー落下、ランチルーム天井剥離

【中学校】（17件）

	施設名	市町村	被害状況
1	中部中学校	別府市	貯水タンク破損
2	朝日中学校	別府市	プール漏水
3	東山中学校	別府市	浄化槽や校舎周辺に陥没、隆起、ずれあり
4	植田西中学校	大分市	渡り廊下天井及び床の変形
5	植田南中学校	大分市	渡り廊下天井及び床の変形
6	判田中学校	大分市	渡り廊下天井及び床の変形 渡り廊下エキスパンションジョイントカバーの落下
7	城南中学校	大分市	天井部分の石片落下
8	明野中学校	大分市	電柱の傾き
9	庄内中学校	由布市	体育館ガラス割れ、渡り廊下・非常階段内壁亀裂、グラウンド亀裂
10	湯布院中学校	由布市	校舎内壁亀裂、運動場アスファルト隆起等
11	狭間中学校	由布市	漏水により消火栓停止
12	緑ヶ丘中学校	竹田市	玄関タイル剥離
13	前津江中学校	日田市	管理棟教室内壁一部剥離、消化ポンプ室壁面一部剥離
14	五馬中学校	日田市	校舎南棟の屋根瓦落下、体育館スロープの破損
15	日出生中学校	玖珠町	教室エアコン石膏ボード一部剥離、廊下床材隆起
16	ここのえ緑陽中学校	九重町	タイル一部隆起、軒のボード一部落下
17	南端小・中学校（休校中）	別府市	体育館ガラス数枚破損

【高校】（県立）（15件）

	施設名	市町村	被害状況
1	別府青山・翔青高校	別府市	校舎・体育館の外壁一部剥離
2	別府鶴見丘高校	別府市	校舎の外壁・内壁一部剥離、玄関前石垣に亀裂等
3	別府羽室台高校	別府市	校舎エキスパンション歪曲、体育館基礎一部亀裂、体育館内壁剥離漏水（対応済）
4	大分上野ヶ丘高校	大分市	特別教室棟西側、増設建物の接合部分のコンクリートが剥落
5	大分舞鶴高校	大分市	外壁亀裂
6	大分南高校	大分市	エキスパンションの湾曲・剥離
7	大分商業高校	大分市	校舎の内壁に亀裂、モルタルの浮き、天井の一部剥離
8	由布高校	由布市	弓道場横のブロック塀破損、外壁・内壁・天井一部剥離等
9	三重総合高校久住校	竹田市	トイレ等内壁一部剥離、内壁一部亀裂等
10	日田高等学校	日田市	定時制つなぎ部分損傷
11	日田林工高校	日田市	天井一部剥離、内壁一部亀裂、ガラス割れ等
12	玖珠美山高校	玖珠町	管理棟玄関ポーチ屋根裏一部剥離
13	臼杵高校	臼杵市	既存のひび割れの拡大
14	佐伯鶴城高校	佐伯市	内壁一部亀裂（今回の地震によるものか不明）
15	佐伯豊南高校	佐伯市	農場北側水道管漏水、相撲場基礎に亀裂

【高校】（市立）（1件）

	施設名	市町村	被害状況
1	別府商業高校	別府市	外壁一部亀裂

【高校】（私立）（5件）

	施設名	市町村	被害状況
1	明豊高等学校	別府市	体育館の天井剥離
2	別府溝部学園高等学校	別府市	校舎のモルタル壁剥離、敷地舗装一部亀裂
3	福德学院高等学校	大分市	校舎屋上・外壁に亀裂
4	大分東明高等学校	大分市	新体育館給水タンクから漏水
5	竹田南高等学校	竹田市	体育館と校舎の間のコンクリート一部剥離

【特別支援学校】（11件）

	施設名	市町村	被害状況
1	聾学校	大分市	体育館と高等部棟壁面に亀裂
2	日出支援学校	日出町	中学部北側外壁一部剥離
3	別府支援学校	別府市	寄宿舍配管から漏水
4	別府支援学校 鶴見校	別府市	会議室配管から漏水
5	別府支援学校 石垣原校	別府市	防火用配管から漏水
6	南石垣支援学校	別府市	建物継ぎ目の金属部分が湾曲し変形、渡り廊下壁の亀裂等
7	新生支援学校	大分市	防火扉不良
8	由布支援学校	由布市	ガラスひび割れ、エキスパンション変形、校庭に亀裂
9	竹田支援学校	竹田市	校舎と渡り廊下の繋ぎ部分の天井カバーが破損
10	臼杵支援学校	臼杵市	外壁一部剥離
11	日田支援学校	日田市	エレベーター付近 亀裂有り

【給食施設】（3件）

	施設名	市町村	被害状況
1	直入学校給食共同調理場	竹田市	水が使えず、18日は簡易給食により対応。 19日は弁当持参。20日は通常実施。
2	九重町学校給食センター	九重町	町水道被害により、給食センター周辺地区が断水。 復旧には時間がかかるため、野上小、南山田小、ここのえ緑陽中については簡易的な給食で対応。また、最低限の飲料確保することを確認。
3	別府市学校給食調理場	別府市	調理場の天井崩落に伴い、26日から改修工事实施。 25日～5月6日まで簡易給食にて対応

5月9日までの社会教育施設等被害状況

別添2

【県管理】（5件）

	施設名	市町村	被害状況
1	県立図書館	大分市	エレベータ4基停止、3階事務所ガラス一部破損 エントランス正面東側のガラス一部破損、柱部分のコンクリート片等が落下、天井ボードひび割れ、防犯センサー落下、2階閲覧室北側窓にひび割れ、壁面（各所）金属部品が落下、館長室柱部分の欠片落下、壁上部のガラス固定ゴムのはがれ
2	大分県立総合体育館	大分市	タイルひびわれ（入口外、大階段下）
3	豊泉荘	別府市	ボイラーの配管がずれて水漏れが発生
4	教職員住宅KR2	別府市	敷地南側法面の石垣に細かなひびが入り、少し浮いている。4月24日に別府土木事務所職員と確認。
5	香々地青少年の家	豊後高田市	雨漏り（本館2階）

【市町村管理】（47件）

	施設名	市町村	被害状況
1	べっぷアリーナ	別府市	メインアリーナ天井から落下物、ドア窓ガラス破損、天井に亀裂
2	市民体育館	別府市	天井から落下物あり、板が外れている、天井と側壁のずれ
3	温水プール	別府市	機械室給水パイプが外れ漏水 プールサイド排水溝の蓋にずれあり、外壁クラック多数
4	朝日大平山体育館	別府市	窓枠のひび割れ、敷地内の石垣が一部崩壊
5	アーチェリー場	別府市	天井から粉塵落下
6	中部地区公民館	別府市	壁にひび
7	西部地区公民館	別府市	トイレ壁面タイルにひび（使用可能）
8	中央公民館	別府市	外壁にひび、ホールステージ内壁にひび
9	朝日大平山公民館	別府市	壁、屋根の一部ガラス破損、外壁に複数クラックあり、フロア天井から小さな木片落下、体育館西側軒から板落下
10	北部地区公民館	別府市	近隣石垣の破損
11	青山プール	別府市	プールタイルのはがれ、外壁隆起あり、観客席ひび割れ
12	中部地区体育館	別府市	内壁、外壁等に亀裂
13	弓道場	別府市	天井板のめくれ
14	別府市美術館	別府市	貯水タンク破損、2階研修室天井照明落下、展示室換気扇落下、ショウケース1台ガラス破損
15	西部交流スポーツ広場	大分市	Aグラウンド、ネットのワイヤー外れ
16	南大分公民館	大分市	集会室の天井崩落、排気口の破損
17	大分南部公民館	大分市	集会室ステージ上の天井一部剥落、花壇の崩壊
18	湯布院公民館	由布市	内壁・外壁・床に亀裂、ガラス破損、灯籠倒壊、マンホール吹き上げ
19	庄内公民館	由布市	内壁亀裂、ガラス破損、タイル破損多数
20	川西公民館	由布市	内壁ひび割れ、庇付け根破損

	施設名	市町村	被害状況
21	湯平地区公民館	由布市	窓ガラス破損
22	狭間公民館	由布市	壁一部剥落
23	湯布院スポーツセンター	由布市	ガラスの破損、建物に亀裂
24	川西児童体育館	由布市	ガラスの破損、外壁の亀裂
25	湯布院総合運動場	由布市	水道管の破裂、グラウンドの亀裂
26	B & G 海洋	由布市	ガラスの破損、外壁の亀裂
27	はさま未来館	由布市	大ホール床に天井から粉が散下
28	久住体育館	竹田市	天井の剥離、敷地内道路クラック
29	竹田市体育センター	竹田市	窓ガラスの破損、内壁の剥離
30	白丹体育館	竹田市	外壁の剥離
31	B & G 海洋センター体育館	竹田市	玄関床の亀裂
32	久住総合運動公園	竹田市	漏水、敷地内地割れ、体育館天井の剥離
33	竹田市総合運動公園	竹田市	トイレ天井に亀裂
34	歴史資料館	竹田市	外壁ひび割れ、ケース破損、外庭石灯籠崩れ
35	日田市総合体育館	日田市	アリーナ天井一部変形
36	天瀬公民館	日田市	外壁タイル剥落
37	鯛生スポーツセンター	日田市	宿泊棟天井等破損、グラウンド法面崩壊
38	市営日田プール(屋外)	日田市	スタンドひび割れ
39	前津江柔剣道場	日田市	トイレのタイルひび割れ
40	大鶴スポーツ広場	日田市	トイレの便器破損
41	桂林公民館	日田市	集会室の壁損傷、教室壁にひび、ロビー天井に隙間
42	朝日公民館	日田市	壁剥落3か所
43	大山公民館	日田市	階段の壁にひび、ホールの壁にひび
44	中央公民館	日田市	壁紙はがれ、渡り廊下つなぎ金具の損傷、床タイルの浮き
45	南山田公民館	九重町	外壁タイルにひび
46	歴史民俗資料館	中津市	壁面のひび割れの拡大、雨漏りの発生
47	神楽会館	豊後大野市	外壁ひび割れ

5月9日 までの文化財の被害状況

別添 3

教育庁文化課

国指定文化財 12件

- 重要文化財 旧日野医院 [由布市] (平成11年12月指定)
- ・本館の壁にヒビ(クラック)
 - ・本館正面柱の礎石にクラック
 - ・建物周囲の石垣の一部が崩落
- 史 跡 岡藩主中川家墓所 [竹田市] (平成9年9月指定)
- ・燈籠が倒壊、外周白壁のひび割れ、管理棟の壁に亀裂
- 岡城跡 [竹田市] (昭和11年12月指定)
- ・本丸跡石垣、下原門跡石垣のたわみ・ズレが発生
- 旧竹田荘 [竹田市] (昭和23年1月指定)
- ・史跡入口部分の石垣にズレが発生。
 - ・草際吟舎(茶室)の壁にヒビ
- 角牟礼城跡 [玖珠町] (平成17年3月指定)
- ・石垣の緩み(1か所)、石垣崩壊(4カ所)、石垣孕み(数か所)
- 角埋神社鳥居傾き、角埋神社本尊2体損傷
- 鬼の岩屋古墳 [別府市] (昭和32年11月指定)
- ・2号墳の石室の礎が落下
- 宇佐神宮境内 [宇佐市] (昭和61年2月指定)
- ・宮迫地区個人宅の緩んだ石垣が21日の豪雨で崩壊(3m)
- 広瀬淡窓旧宅及び墓 [日田市] (平成25年3月指定)
- ・旧宅にある蔵の壁にヒビ3か所・浮き1か所
- 名 勝 旧久留島氏庭園 [玖珠町] (平成24年1月指定)
- ・石垣崩落(1か所)、石垣の緩み(2カ所)、石灯籠損傷(2基)
- 耶馬溪 [中津市] (大正12年3月指定、昭和11年7月追加)
- ・落石(1箇所): 被災家屋あり(半壊1棟・一部損壊1棟)
- 天然記念物 大岩扇山 [玖珠町] (昭和10年6月指定)
- ・斜面の土砂崩れ(1か所)
- 重要文化的景観 別府の湯けむり温泉地景観 [別府市] (平成24年9月選定)
- ・石積みの塀の崩落による湯の花小屋のき損

県指定文化財 17件

- 史 跡 永山城跡 [日田市] (平成28年2月指定)
- ・本丸石垣の一部崩落
- 竈門氏墓地古塔群 [別府市] (昭和50年3月指定)
- ・五輪塔2基の石材転落
- 府内城跡 [大分市] (昭和38年2月指定)
- ・人質櫓の壁に亀裂、指定地外の大手門の屋根瓦落下
 - ・宗門櫓の壁の剥落
- 鬼塚古墳 [玖珠町] (昭和28年4月指定)
- ・墳丘を覆う玉石垣の一部が崩落
- 川原隧道と石畳 [日田市] (昭和51年3月指定)
- ・隧道内の石材の落石

有形文化財

- ながいわじょう
長岩城跡 [中津市] (平成 23 年 3 月指定)
- ・石垣崩壊 (2 箇所)
- さいこうじ
西光寺境内 [竹田市] (平成 12 年 3 月指定)
- ・境内にある藩主縁の婦女子墓 2 基が倒壊
- はさま
挾間氏五輪塔群 [由布市] (昭和 47 年 3 月指定)
- ・五輪塔二基の転倒、史跡内のその他に異常見られず
- こま
国東塔 [別府市] (昭和 47 年 3 月指定)
- ・相輪落下 塔身に若干のズレ
- むこうはるせきどう
向原石幢 [別府市] (昭和 49 年 3 月指定)
- ・塔身に若干のズレ
- かまど
竈門氏墓地五輪塔 [別府市] (昭和 50 年 3 月指定)
- ・五輪塔 2 基が倒壊
- ふるさわいせきどう
古澤家石幢 [竹田市] (昭和 53 年 3 月指定)
- ・転倒
- ぶつこうじろくじぞうせきどう
仏光寺六地藏石幢 [由布市] (昭和 36 年 3 月指定)
- ・倒壊により笠部損壊、宝珠欠損
- せきどう
石幢 [由布市] (昭和 47 年 3 月指定)
- ・倒伏により散乱、宝珠に擦傷
- きょうそんじ
教尊寺 [大分市] (平成 11 年 3 月指定)
- ・御殿と庫裡をつなぐ廊下の壁に亀裂・漆喰の浮き(いずれも軽微)
- おんたけこんけんしやほうどう
御嶽権現社宝塔 [別府市] (昭和 50 年 3 月指定)
- ・宝塔が倒壊 (詳細については未確認)
- いせ
石造五輪塔 [豊後大野市] (昭和 47 年 3 月指定)
- ・倒壊

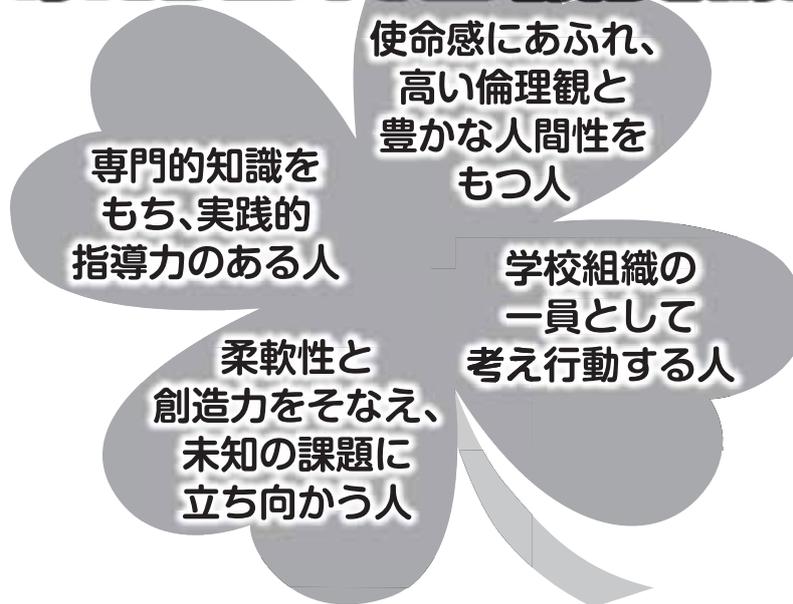
国登録文化財
有形文化財

- 7 件
- ほあしけぶんけじゆうたく
帆足家分家住宅 [大分市] (平成 17 年 11 月登録)
- ・穀物蔵、質蔵、主屋の壁に亀裂 (計 5 箇所)
- かじわらけ
梶原家住宅 [日出町] (平成 19 年 7 月登録)
- ・主屋壁に亀裂
- ひさつねけ
久恒家住宅 [中津市] (平成 13 年 8 月登録)
- ・長屋門、東蔵、米蔵の外壁等にヒビ数カ所
- こてがわ
小手川酒造主屋 [臼杵市] (平成 9 年 7 月登録)
- ・漆喰壁の一部に亀裂
- ほあしけほんけ
帆足家本家住宅 [大分市] (平成 18 年 11 月登録)
- ・洋館と主屋の壁にヒビ
- ふじや
富士屋旅館 [別府市] (平成 13 年 11 月登録)
- ・前門の天井板ズレ、前門と塀の間に隙間、石垣にヒビ
石段にズレ、石垣の一部倒壊
- きょうたうりがくぶ
京都大学理学部附属地球熱学研究施設 [別府市] (平成 9 年 6 月登録)
- ・屋上の装飾の破損、塔屋のレンガ壁亀裂、屋内壁の亀裂

計 36 件

平成29年度 大分県公立学校 教員採用選考試験 — 実施要項 —

求められる教員像



昨年度からの主な変更点

- 1 第1次試験の免除要件を次のように拡充します。
 - (1) 第1次試験及び第2次試験合格による第1次試験の免除要件
平成27年度選考試験の第1次試験及び第2次試験の合格者で、平成28年度選考試験において同一志望種、教科・科目の募集がなかったために、第1次試験の免除申請ができなかった者について、平成29年度選考試験の同一志望種、教科・科目の受験に際し、第1次試験の免除が申請できるようにします。
ただし、一般選考の受験資格を満たす者に限ります。
 - (2) 他県教員を対象とする第1次試験免除制度の勤務期間要件
大分県を除く都道府県又は政令指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、県外で正規教員として勤務している者に対する第1次試験免除制度の勤務期間要件を、現行の「5年以上」から「3年以上」に短縮して適用します。
ただし、制度適用の志望種は、小学校教諭、特別支援学校教諭（小・中学部）、養護教諭とします。
- 2 合格者で、大学院修士課程、博士前期課程又は教職大学院での修学を希望する者に対する採用延期について、3年制の教職大学院にも適用します。

平成29年度大分県公立学校教員採用選考試験実施要項

大分県教育委員会

1 目 的

大分県公立学校教員を志望する者について、平成29年度採用に当たっての選考資料とするため、これを実施する。

2 試験区分、志望種及び採用予定者数等

(1) 一般選考

志 望 種	採 用 予 定 者 数	
	全体数	教 科 ・ 科 目 別 内 訳 等
① 小 学 校 教 諭	140人	
② 中 学 校 教 諭	91人	国語(17) 社会(15) 数学(15) 理科(12) 音楽(2) 美術(1) 保健体育(12) 技術(1) 家庭(1) 英語(15)
③ 高 等 学 校 教 諭	33人	国語(4) 地理歴史〔世界史(1) 地理(2)〕 公民(1) 数学(7) 理科〔物理(1) 化学(3) 生物(1)〕 保健体育(1) 英語(6) 農業(2) 工業〔機械(1)〕 水産〔機関(1) 航海(1)〕 福祉(1)
④ 特 別 支 援 学 校 教 諭	42人	小学部(20) 中学部(12) 高等部(10)
⑤ 養 護 教 諭	20人	
一 般 選 考 計	326人	

※ ④のうち小学部又は中学部の合格者は、特別支援学校のほか、免許状の種類に応じ、小学校又は中学校において、特別支援学級担当の教諭として勤務する(以下同じ)。

※ 合格者のうち日本国籍を有しない者は、任用の期限を付さない常勤講師として採用する(以下同じ)。

(2) 特別選考

障がい者が社会参加することを通じて青少年の健全育成を推進するため、また、社会人としての多様な経験や専門的な知識・技能を教育に生かすため、及び卓越した指導者の秀でた実績や優れた知識・技能を競技力向上に生かすために実施する。

特別選考種	採用予定者数	摘 要
特別選考(Ⅰ) (障がい者特別選考)	2人	一般選考の志望種②から④までのいずれかを志望する者で、教科・科目は問わない。第1次試験、第2次試験及び第3次試験は一般選考と同様の試験を実施するが、願書の記載事項を審査の上、第2次試験の実技試験(特別支援学校教諭志望者に限る。)の一部又は全てを免除することがある。また、障がいの種類や程度に応じた受験上の配慮を行う。
特別選考(Ⅱ) (社会人特別選考)	2人	一般選考の志望種①又は②を志望する者で、教科は問わない。第1次試験は教養試験及び専門試験に代えて、小論文を実施する(実技試験(当該教科受験者)は実施する。) なお、第2次試験及び第3次試験は一般選考と同様の試験を実施する。
特別選考(Ⅲ) (スペシャリスト特別選考)	2人	高等学校教諭のうち、下記(※)の教科を志望する者で、スポーツの指導者として優秀な実績を有するものとする。第1次試験及び第2次試験を免除し、第3次試験はプレゼンテーション及び面接試験を実施する。
特 別 選 考 計	6人	

※ 特別選考(Ⅲ)の教科：国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術、書道、英語、家庭、農業、工業、商業、看護、情報、福祉

3 受験資格

一般選考	<p>次の(1)から(4)までの要件を全て満たす者に限る。</p> <p>(1) 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第16条及び学校教育法(昭和22年法律第26号)第9条の欠格条項に該当しない者</p> <p>(2) 志望種に応ずる教諭普通免許状(特別支援学校教諭志望者は、特別支援学校教諭普通免許状又は盲・聾・養護学校のいずれかの教諭普通免許状に加えて、小学部志望者は小学校教諭普通免許状、中学部志望者は中学校教諭普通免許状、高等部志望者は高等学校教諭普通免許状)を現に有している者又は平成29年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>平成6年3月31日以前において、高等学校の社会科教諭普通免許状を取得した者は、高等学校教諭の地理歴史又は公民を受験できる。</p> <p>水産(機関)教諭志望者は、水産若しくは商船の高等学校教諭普通免許状及び3級以上の海技士(機関)の海技免状を現に所有している者又は平成29年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>水産(航海)教諭志望者は、水産若しくは商船の高等学校教諭普通免許状及び3級以上の海技士(航海)の海技免状を現に所有している者又は平成29年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>(3) 昭和51年4月2日以降に生まれた者。ただし、大分県公立学校教職員(臨時的任用の者を除く。)又は他都道府県の国公立学校教諭若しくは養護教諭として現に身分を有する者は、昭和46年4月2日以降に生まれた者</p> <p>(4) 県内のどこにでも赴任できる者</p>
特別選考(Ⅰ)	<p>上記(1)から(4)までの要件に加え、(5)の要件を満たす者に限る。</p> <p>(5) 身体障害者手帳のⅠ級からⅥ級までのいずれかの交付を受けている者で、自力で通勤が可能であり、かつ、介助なしに教員としての職務遂行が可能なもの</p>
特別選考(Ⅱ)	<p>上記(1)及び(4)の要件に加え、(6)から(8)までの要件を全て満たす者に限る。</p> <p>(6) 次のア又はイのいずれかに該当する者</p> <p>ア 志望種に応ずる教諭普通免許状を現に有している者又は平成29年3月31日までに取得見込みの者</p> <p>イ (6)のアに該当しない者で、次の①及び②に該当するもの(中学校教諭志望者に限る。)</p> <p>① 志望する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有する者</p> <p>② 社会的信望があり、かつ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見を持っている者</p> <p>(7) 昭和51年4月2日以降に生まれた者</p> <p>(8) 民間企業・官公庁等において常勤の職(国公立学校・学習塾・予備校等の教育職を除く。)として平成28年6月1日現在5年以上継続して勤務している者</p>
特別選考(Ⅲ)	<p>上記(1)から(4)までの要件に加え、(9)及び(10)の要件を全て満たす者に限る。</p> <p>(9) 平成19年4月1日以降平成28年5月31日までの間において、次のア又はイのいずれかに該当する者</p> <p>ア 国際レベルの大会に日本代表として出場した団体又は個人を指導した実績を有する者</p> <p>イ 全国規模の大会でベスト4以上の成績を収めた団体又は個人を指導した実績を有する者</p> <p>(10) 全国高等学校体育連盟及び日本高等学校野球連盟に大分県が加盟している競技種目のうち下記の種目の指導者である者</p> <p>種目：陸上競技、体操、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、ハンドボール、サッカー、ラグビーフットボール、バドミントン、ソフトボール、相撲、柔道、ボート、剣道、レスリング、弓道、テニス、登山、自転車競技、ボクシング、ホッケー、ウエイトリフティング、ヨット、フェンシング、空手道、アーチェリー、なぎなた、カヌー、馬術、ライフル射撃、軟式野球、硬式野球</p>

(注意)・一般選考(2)における志望種に応ずる教諭普通免許状を平成29年3月31日までに取得見込みの者について
 養護教諭に出願する者で、養護教諭免許状を平成29年3月31日までに取得見込みのものに、平成28年度中に実施される保健師国家試験の合格により得られる資格を基礎として養護教諭免許状を取得しようとするものを含む。

・特別選考(Ⅱ)の受験資格(6)のイの要件について
 採用に当たっては、教育職員免許法第5条第3項に定める特別免許状の授与を受ける必要があることから、(6)のイの①の基準に関して、出願に基づき提出書類(p.4~5)により、次の観点から特別免許状授与の可否について予備的な審査を行う。
 (i)「志望する教科に関する専門的な知識経験又は技能」は、担当する教科の教育課程、学習指導要領等に照らし、学校教育の効果的実施が期待できるものであること。
 (ii) 志望する教科に関する専門的な知識経験又は技能に関連した実務経験を、5年以上有していること。
 なお、特別免許状の授与について、不明な点は事前に確認すること。

・特別選考(Ⅲ)の受験資格について
 (9)の要件に関しては、専門家で構成される審査委員会を設置し、同委員会において審査を行う。ただし、平成24年度から平成27年度までに実施された大分県公立学校教員採用選考試験の特別選考(Ⅲ)に出願した者は、上記(9)に該当する新たな実績を有する場合にのみ出願することができる。

<p>(参考)</p> <p>地方公務員法(抜粋) (欠格条項)</p> <p>第16条 次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。</p> <p>(1) 成年被後見人又は被保佐人</p> <p>(2) 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者</p> <p>(3) 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者</p> <p>(4) 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあつて、第60条から第63条までに規定する罪を犯し刑に処せられた者</p> <p>(5) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者</p>	<p>学校教育法(抜粋) (校長・教員の欠格事由)</p> <p>第9条 次の各号のいずれかに該当する者は、校長又は教員となることができない。</p> <p>(1) 成年被後見人又は被保佐人</p> <p>(2) 禁錮以上の刑に処せられた者</p> <p>(3) 教育職員免許法第10条第1項第2号又は第3号に該当することにより免許状がその効力を失い、当該失効の日から3年を経過しない者</p> <p>(4) 教育職員免許法第11条第1項から第3項までの規定により免許状取上げの処分を受け、3年を経過しない者</p> <p>(5) 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者</p>
--	--

4 第1次試験の免除

(1) 免除の要件

次の①から④までのいずれかの要件を満たす者は、希望により第1次試験を免除する。ただし、特別選考（Ⅱ）及び（Ⅲ）を受験する者は除く。

① 次のア又はイに該当する者

ア 平成28年度大分県公立学校教員採用選考試験の第1次試験及び第2次試験を受験し、いずれにも合格した者であって、かつ、平成29年度大分県公立学校教員採用選考試験において、同一の志望種、教科・科目を受験する者

イ 平成27年度大分県公立学校教員採用選考試験の第1次試験及び第2次試験を受験し、いずれにも合格した者であって、平成28年度大分県公立学校教員採用選考試験において同一の志望種、教科・科目の選考試験が実施されず、かつ、平成29年度大分県公立学校教員採用選考試験において、同一の志望種、教科・科目を受験する者

※平成27年度大分県公立学校教員採用選考試験の高等学校世界史、生物又は福祉を受験した者のうち、第1次試験及び第2次試験に合格した者が該当する。

（注意）平成28年度大分県公立学校教員採用選考試験における第1次試験免除者は、同年度第2次試験に合格した場合でも、平成29年度大分県公立学校教員採用選考試験の第1次試験を免除しない。

② 次のア及びイに該当する者

ア 小学校教諭に出願する者で、大分県を除く都道府県又は政令指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、公立の小学校又は国立大学法人が所管する小学校の正規教員（臨時的任用の者は除く。）としての勤務期間が平成28年6月1日現在3年以上（休職・育児休業の期間を除く。）であるもの

イ 現在、公立の小学校若しくは国立大学法人が所管する小学校の正規教員（臨時的任用の者は除く。）又は都道府県教育委員会若しくは市町村教育委員会の職員として勤務している者

③ 次のア及びイに該当する者

ア 特別支援学校教諭小学部又は中学部に出願する者で、大分県を除く都道府県又は政令指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、公立の特別支援学校又は国立大学法人が所管する特別支援学校の正規教員（臨時的任用の者は除く。）としての勤務期間が平成28年6月1日現在3年以上（休職・育児休業の期間を除く。）であるもの

イ 現在、公立の特別支援学校若しくは国立大学法人が所管する特別支援学校の正規教員（臨時的任用の者は除く。）又は都道府県教育委員会若しくは市町村教育委員会の職員として勤務している者

④ 次のア及びイに該当する者

ア 養護教諭に出願する者で、大分県を除く都道府県又は政令指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、公立の学校又は国立大学法人が所管する学校の正規教員（臨時的任用の者は除く。）としての勤務期間が平成28年6月1日現在3年以上（休職・育児休業の期間を除く。）であるもの

イ 現在、公立の学校若しくは国立大学法人が所管する学校の正規教員（臨時的任用の者は除く。）又は都道府県教育委員会若しくは市町村教育委員会の職員として勤務している者

（注意）②から④までのいずれかの要件により第1次試験の免除を希望する者は、出願書類として、勤務履歴を証明するものを提出すること。

なお、在職期間の確認ができない場合は、免除しない。

(2) 免除の手続

免除を希望する者は、願書の該当欄に記入した上で、「5 出願等手続」に従って出願すること。

(3) その他

上記（1）の①により、第1次試験の免除が認められた者については、平成29年度大分県公立学校教員採用選考試験の第2次試験に合格した場合においても、平成30年度大分県公立学校教員採用選考試験の第1次試験を免除しない。

5 出願等手続

出願の方法には、「(1) インターネット（大分県電子申請システム）を利用する方法」「(2) 出願に必要な書類をダウンロードして提出する方法」「(3) 配布等により入手した出願に必要な書類を提出する方法」の3種類がある。いずれの場合も、最後は郵送又は持参による願書等の提出が必要となるので注意すること。

(1) インターネット（大分県電子申請システム）を利用する方法

※ インターネット接続、メールの送受信及び書類の印刷（A4サイズのモノクロ印刷）が可能なのは、できるだけこの方法で出願すること。

ア 大分県電子申請システムの利用者登録

インターネット上の次のURLにアクセスし、「利用者登録はこちら」→「基本情報入力」→「利用者IDの発行」→「送信されたメールの確認ページでIDとパスワード入力」を行う。

<https://www.egov-oita.pref.oita.jp/>

※ 取得したIDやパスワードは忘れないよう控えておくこと。

イ 大分県電子申請システムによる申請情報の入力

※ **入力期間 平成28年5月20日（金）9:00～6月8日（水）17:15**

登録したIDとパスワードでログインし、「申請先の選択」→「大分県」→「平成29年度 大分県公立学校教員採用選考試験」→「電子申請をする」→「申請情報の入力」を行う。申請内容を確認後、「送信」をクリックする。

※ 「送信」後は、志願者による申請内容の修正ができないので注意すること。また、「送信」後に修正の必要が

出た場合、(5) 書類の提出先に連絡をし、修正の依頼をすること。

※ 申請が受け付けられると受付確認画面が表示されるので、画面に表示される内容を確認すること。特に「受付番号」は、問い合わせや願書等記入の際などに必要になるため、控えておくこと。

ウ 出願に必要な書類の印刷

入力完了し、確認する画面で出願に必要な書類を「申請書控え保存」で保存するとともに各自で印刷すること。

エ 手書き記入事項の記入・提出

印刷した願書の最下段の日付及び自署欄は手書きが必要なので、必要な部分を黒ボールペンで記入すること。また、印刷した願書、写真票及びコード入力票の最下段に「電子申請日(月日のみ記入)」及び「電子申請受付番号」を黒ボールペンで記入すること。さらに、写真票と願書の写真欄に指定されたサイズの写真を貼り付けること。

出願に必要な書類の提出は、(4)に記載された「願書受付期間及び提出方法等」に従い、(5)に記載された提出先に行くこと。

※ 電子申請のみでは出願が受付されないので注意すること。必ず、電子申請後に印刷した書類を郵送又は持参すること。

※ システムの操作、利用者登録等で不明な点がある場合は、大分県電子申請システムヘルプデスク(電話 097-506-2176:受付時間9:00~18:00(土曜日及び日曜日を除く。))に問い合わせること。

(2) 出願に必要な書類をダウンロードして提出する方法

ア 出願に必要な書類のダウンロード及び印刷

大分県教育委員会のホームページ(<http://kyouiku.oita-ed.jp/>)に出願に必要な書類一式を掲載するので、必要に応じてダウンロードし、各自で印刷(A4モノクロ印刷)すること。

※ ダウンロード可能期間 平成28年5月20日(金)9:00~6月10日(金)17:15

イ 書類の記入・提出

記入要領に従って、出願に必要な書類の記入を黒ボールペンで行うこと。また、写真票と願書の写真欄に指定されたサイズの写真を貼り付けること。

出願に必要な書類の提出は、(4)に記載された「願書受付期間及び提出方法等」に従い、(5)に記載された提出先に行くこと。

(3) 配布等により入手した出願に必要な書類を提出する方法

ア 出願に必要な書類の入手方法

大分県内の各教育事務所、大分県立図書館、大分県庁舎、大分県福岡事務所、大分県大阪事務所及び大分県東京事務所等で配布している実施要項(出願に必要な書類付属)を直接入手すること。又は、郵便で実施要項を次の宛先に請求すること。なお、封筒の表には「教員採用選考試験実施要項請求」と朱書きすること。

※ 宛先:〒870-8503 大分県大分市府内町3丁目10番1号

大分県教育庁教育人事課 採用試験・免許班

※ 住所、氏名等を記載し、140円分の切手を貼った返信用封筒(角形2号縦33.2cm横24cm)を同封すること。

※ 往復の郵送に要する日数を考慮し、余裕を持って請求すること。なお、実施要項は平成28年5月9日(月)以降、順次送付する。

イ 書類の記入・提出

記入要領に従って、出願に必要な書類の記入を黒ボールペンで行うこと。また、写真票と願書の写真欄に指定されたサイズの写真を貼り付けること。

出願に必要な書類の提出は、(4)に記載された「願書受付期間及び提出方法等」に従い、(5)に記載された提出先に行くこと。

(4) 願書受付期間及び提出方法等

願書受付期間 平成28年5月27日(金)から6月10日(金)まで(土曜日及び日曜日を除く。)	
提出方法は、次の①又は②とする。①、②とも、提出書類を封筒に入れ、封筒の表に「(志望種名称)受験願書在中」と朱書きすること。(例:「中学校教諭受験願書在中」)	
① 持参による場合	・5の(5)の書類の提出先に持参すること。 ・受付時間は、8:30~17:15とする。
② 郵送による場合	・簡易書留とする。 ・平成28年6月10日(金)の消印のあるものまで有効とする。

(5) 書類の提出先

大分市府内町3丁目10番1号 大分県教育庁 教育人事課 採用試験・免許班(大分県庁舎別館7階)
郵便番号 870-8503 電話 (097) 506-5518

(6) 提出書類 (①から④までは全員、⑤から⑨までは該当者のみ)

	提出物	注意事項等
①	願書	・電子申請の場合は、必要事項を入力後、印刷出力した願書に、写真を貼付し、自署すること。 ・電子申請しない場合は、必要事項を記入し、写真を貼付すること。
②	コード入力票	・電子申請の場合は、必要事項を入力後、印刷出力したコード入力票を提出すること。 ・電子申請しない場合は、必要事項を記入すること。

③	写真票	<ul style="list-style-type: none"> 電子申請の場合は、必要事項を入力後、印刷出力した写真票に願書と同一の写真を貼付すること。 電子申請しない場合は、必要事項を記入し、願書と同一の写真を貼付すること。
④	返信用封筒 2枚 (受験票送付用及び第1次試験結果通知用)	<ul style="list-style-type: none"> 82円切手を貼り、住所、氏名を明記すること(宛名は「〇〇様」とすること)。 封筒の規格は、23.5cm×12cm(長形3号)、糊付き封筒とし、2枚用意すること(速達を希望する場合は、362円分の切手を貼り、表に「速達」と朱書きすること)。
⑤	身体障害者手帳の写し	<ul style="list-style-type: none"> 特別選考(Ⅰ)志望者のみ
⑥	特別選考(Ⅱ)の受験資格(6)のイの要件に該当する者に必要な提出書類	<ul style="list-style-type: none"> 特別選考(Ⅱ)の受験資格(6)のイの要件に該当する者は、次の(i)及び(ii)の書類を提出すること。 (i)教員の職務を行うために必要な資質能力に関するアピール書(別紙様式1※)(自らの専門的な知識経験又は技能と教育指導との関連及び活用、これまでの指導歴その他教員としての資質能力についてアピールしたい事項) (ii)志望する教科に関する専門的な知識経験又は技能を有すると認められる資格(国家資格、公的資格、民間資格の別を問わない。)を証する書類(写しでもよい)。
⑦	特別選考(Ⅲ)の受験資格を証する書類	<ul style="list-style-type: none"> 別紙様式2-1(※)の記載に従い、所属団体等の代表者による証明書を提出すること。
⑧	特別選考(Ⅲ)受験に係る意向届	<ul style="list-style-type: none"> 別紙様式2-2(※)に必要事項を記入し、押印すること。
⑨	第1次試験の免除に係る書類	<ul style="list-style-type: none"> 前記4の(1)の②から④のいずれかに該当することにより、第1次試験の免除を希望する者は、勤務履歴を証明するもの(別紙様式3※)を提出すること。なお、任命権者が作成した書類をもって代えることができる。

※ 別紙様式1、2-1、2-2及び3は、次のア又はイのいずれかの方法により入手すること。

ア 大分県教育委員会のホームページ(<http://kyouiku.oita-ed.jp/>)からダウンロードする。

イ 上記5の(5)の書類の提出先に請求する(事前に電話連絡すること)。

(注意)(ア) 必要書類及び記載事項が不備の場合は、受け付けないことがある。

(イ) 出願時に提出された書類は理由のいかんを問わず、返却しない。

(ウ) 受験料は不要である。

(エ) 身体に障がい等があり、試験場において配慮を必要とする受験者(例：車いす使用等)は、願書の「受験上の配慮」欄にその旨を記入すること。

(オ) 特別選考(Ⅰ)による特別支援学校教諭(小学部・中学部・高等部)志望者で、第2次試験の実技試験の一部又は全ての免除を希望する者は、願書の「受験上の配慮」欄にその旨を記入すること。

(カ) 特別選考(Ⅱ)志望者は、願書の「職歴」欄に、民間企業・官公庁等において常勤の職として5年以上継続して勤務していることが分かるように記入すること。

なお、第3次試験合格後、在職証明書の提出が必要である。

(キ) 特別選考(Ⅱ)志望者のうち、受験資格(6)のアの要件に該当する者が受験資格に該当しないと審査された場合は、一般選考を受験することができる。

(ク) 特別選考(Ⅲ)志望者が、受験資格(9)及び(10)の要件に該当しないと審査された場合には、一般選考を受験することができる。ただし、出願時に提出された別紙様式2-2において、一般選考(志願する教科・科目は、2(1)③(高等学校教諭)の教科・科目に限る。)での受験希望を届け出た者に限る。

(7) 特別選考志望者も含め、出願する志望種は、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭(小学部・中学部・高等部)又は養護教諭のいずれか一つとすること。また、出願後の試験区分、志望種及び教科・科目の変更は認めない。

(8) 受験票の交付

平成28年7月1日(金)頃本人宛て発送する。平成28年7月8日(金)を過ぎても受験票が届かない場合は、5(5)の書類の提出先まで連絡すること。

6 第1次試験

第1次試験においては、基本的知識等の修得状況を判断するものとし、以下のとおり実施する。

(1) 期 日

平成28年7月17日(日)

(2) 試験場

大分県立大分舞鶴高等学校 大分市今津留1丁目19番1号 電話(097)558-2268
 大分県立大分豊府中学校・高等学校 大分市大字羽屋600番地1 電話(097)546-2222

(注意)ア 上記2会場で実施する。各受験者の試験場は受験票に記載して通知する。

- イ 受験者の自家用車(二輪車を含む。)による試験場への乗り入れ及び自家用車による試験場への送迎は禁止する。
 なお、自転車は、指定の置き場に駐輪すること。
- ウ 試験場内及び試験場周辺は、禁煙である。
- エ 携帯電話は、試験場内では使用できない。

(3) 日程及び試験内容

時間	試験等	内容等	
9:30	試験室入室完了	・試験室には9:00から入室可	
9:30~9:50	出欠確認、諸注意		
9:50~10:40	教養試験 ※特別選考(Ⅱ)志望者に対しては、小論文(9:50~11:10、1200字以内)を実施する。	・人文・社会・自然科学に関する基本的な一般教養 ・教育原理・教育心理・教育法規等に関する基本的な教職教養(答申・学習指導要領を含む。)	
11:20~12:30 (音楽、美術及び保健体育は12:10まで)	専門試験	小学校	・小学校の全教科及び英語(リスニング)
		中・高等学校	・受験する教科・科目(英語はリスニングを含む。)
		特別支援学校	・特別支援教育に関する専門的事項
		養護教諭	・養護に関する専門的事項
13:00~	実技試験	・中学校音楽、美術及び中・高等学校保健体育志望者のみ ・内容及び携行品は以下を参照のこと	

(注意)ア 教養試験及び専門試験に遅刻した場合は、試験開始後30分以内の遅刻に限り、受験を認める。

- イ 当日は、受験前に試験場の諸掲示に注意すること。
- ウ 教養試験及び専門試験の実施時間中は、携帯電話や荷物は試験室外の指定箇所(当日指定する。)に置くこと。
 試験実施時間中に、試験室内に携帯電話を持ち込んだ場合は、受験を無効とすることがある。
- エ 教養試験及び専門試験の実施時間中は、途中退室することはできない。
- オ 教養試験問題及び専門試験問題は、択一式とする。ただし、一部の教科・科目の専門試験においては、一部又は全てに、数値を記入する問題を出題する。
- カ 中・高等学校の保健体育志望者で、実技試験のうち水泳を7月17日(日)に受験できない者は、第1次試験当日に申請することにより、水泳を予備日(別途指定する日)に受験することを認める。
- キ 実技試験において、試験当日及び予備日に、身体的な事情により実技の実施に支障のある者は、試験当日、受付時に、医師の診断書を提出すること(この場合、実技を全く行わない者は、0点として取り扱うものとする。)

※ 第1次試験の実技試験内容

志望種・志望教科	内容
中学校音楽	・弾き歌い(当日指定の課題曲をピアノ伴奏しながら歌唱する。) ・楽曲の演奏(声楽、ピアノ又は他の楽器(ただし、電子・電気楽器は除く。))による任意の楽曲の演奏(暗譜、伴奏なし) ※ピアノは、試験室に準備したものをを使用すること。 ※楽器を持参する場合は、各自で持ち運びが容易なものであること。 ※持参した楽器の音の調整等は、試験前に5分程度可能である。 ※2分程度で演奏を止めるので、楽曲の途中から演奏してもよい。
中学校美術	鉛筆デッサン、水彩画
中・高等学校の保健体育	・選択1から選択5までの各選択種目群のうちから、それぞれ1種目、合わせて5種目を出願時に選択すること。なお、 出願後の種目変更は認めない。 【選択1】武道(中学校志望者は、柔道、剣道、相撲から選択) (高等学校志望者は、柔道、剣道から選択) 【選択2】球技(バスケットボール、バレーボール、ソフトボールから選択) 【選択3】器械運動(マット運動)、陸上競技(ハードル走)から選択 【選択4】ダンス(創作ダンス、現代的なリズムのダンスから選択) 【選択5】水泳(クロール、平泳ぎから選択:50m)

(4) 携行品

	携行品	注意事項等								
①	受験票									
②	筆記用具	・黒鉛筆又はシャープペンシル (HB程度)、消しゴム								
③	時計	・計時機能だけのものに限る。								
④	上履き及び靴入れ									
⑤	実技試験に必要なもの (右表のとおり)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>志望種・志望教科</th> <th>携行品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学校音楽</td> <td>楽曲の演奏に必要な楽器等</td> </tr> <tr> <td>中学校美術</td> <td>画用鉛筆、水彩用具一式 (絵の具については、アクリルガッシュ、ポスターカラーも可)、画板、画板に紙を固定するもの (クリップ、画鋸等)、制作に適した服装</td> </tr> <tr> <td>中・高等学校の保健体育</td> <td>運動に適した服装、水着、水泳帽、選択した種目に必要な用具 (雨天時用の体育館シューズを準備)</td> </tr> </tbody> </table>	志望種・志望教科	携行品	中学校音楽	楽曲の演奏に必要な楽器等	中学校美術	画用鉛筆、水彩用具一式 (絵の具については、アクリルガッシュ、ポスターカラーも可)、画板、画板に紙を固定するもの (クリップ、画鋸等)、制作に適した服装	中・高等学校の保健体育	運動に適した服装、水着、水泳帽、選択した種目に必要な用具 (雨天時用の体育館シューズを準備)
		志望種・志望教科	携行品							
		中学校音楽	楽曲の演奏に必要な楽器等							
		中学校美術	画用鉛筆、水彩用具一式 (絵の具については、アクリルガッシュ、ポスターカラーも可)、画板、画板に紙を固定するもの (クリップ、画鋸等)、制作に適した服装							
中・高等学校の保健体育	運動に適した服装、水着、水泳帽、選択した種目に必要な用具 (雨天時用の体育館シューズを準備)									
⑥	身体障害者手帳	・特別選考 (I) 志望者のみ								

(5) 試験結果

- ① 第1次試験の一般選考における合格者数は、採用予定者数の2倍 (採用予定者数が1人の場合は4倍) とする。ただし、平成28年度大分県公立学校教員採用選考試験で、試験を実施しなかった志望種・教科・科目は、採用予定者数の3倍 (採用予定者数が1人の場合は5倍) とする。また、特別選考 (I) 及び特別選考 (II) の合格者数は、採用予定者数の3倍とする。

なお、合格ラインの範囲内であっても、成績が著しく低い場合は、合格者とししない。

※ 合格ライン：一般選考においては、採用予定者数の2倍 (採用予定者数が1人の場合は4倍) ただし、平成28年度大分県公立学校教員採用選考試験で、試験を実施しなかった志望種・教科・科目は、採用予定者数の3倍 (採用予定者数が1人の場合は5倍)

特別選考 (I) 及び特別選考 (II) においては、採用予定者数の3倍

※ 成績が著しく低い場合：第1次試験の得点率が40% (150点満点中60点) 以下に該当する場合

※ 特別選考 (I) においては、合格ラインの範囲内であっても、受験した当該志望種、教科・科目の一般選考の選考対象者となる者の上位1/2以内に相当しない者は、合格者とししない。

- ② 第1次試験の結果は、**平成28年7月29日 (金) 午前9時**、大分県庁舎本館1階の県政掲示板 (県民室横) に、第1次試験の合格者の受験番号を掲示するとともに、別途受験者全員宛て文書で通知する。また、第1次試験の合格者の受験番号は、大分県教育委員会のホームページ (<http://kyouiku.oita-ed.jp/>) にも掲載する。
- ③ 第1次試験の教養試験及び専門試験の「正解・配点」を大分県教育委員会のホームページ (<http://kyouiku.oita-ed.jp/>) に掲載する。
- ④ 各志望種、教科・科目における教養試験、専門試験及び実技の合計点の合格最低点を、大分県教育委員会のホームページ (<http://kyouiku.oita-ed.jp/>) に掲載する。

7 第2次試験

第1次試験の合格者及び免除者について、教員として必要な専門性を判断するため、以下のとおり、第2次試験を実施する。

なお、日程等の詳細は、第1次試験の合格者には第1次試験結果通知に併せて指示する。また、第1次試験の免除者には、平成28年7月29日 (金) 頃本人宛て通知する。平成28年8月4日 (木) を過ぎても第2次試験の日程の詳細が届かない場合は、5 (5) の書類の提出先まで連絡すること。

(1) 期 日

平成28年8月10日 (水) から8月19日 (金) まで (予定) のうち、指定する日

(2) 試験場

大分県立爽風館高等学校 大分市上野丘1丁目11番14号 電話 (097) 547-7700

ただし、小学校教諭及び特別支援学校教諭の体育実技試験は、
大分県立大分上野丘高等学校 大分市上野丘2丁目10番1号 電話 (097) 543-6249

(注意) ア 受験者の自家用車 (二輪車を含む。) による試験場への乗り入れ及び自家用車による試験場への送迎は禁止する。

なお、自転車は、指定の置き場に駐輪すること。

イ 試験場内及び試験場周辺は、禁煙である。

ウ 携帯電話は、試験場内では使用できない。

(3) 試験内容

試 験	内 容 等
模擬授業（場面指導）及び口頭試問	・模擬授業については養護教諭志望者は場面指導とする。口頭試問は模擬授業（場面指導）や教科・科目等の専門に関する内容を問う。
実技試験	・小学校、特別支援学校、中学校技術、中・高等学校の英語、中学校家庭、養護教諭を志望する者のみ ・内容及び携行品は、以下を参照のこと。

- (注意) ア 小学校及び特別支援学校教諭志望者で、実技試験のうち水泳を指定された当日に受験できない者は、第2次試験当日に申請することにより、水泳を予備日（別途指定する日）に受験することを認める。
イ 実技試験において、試験当日及び予備日に、身体的な事情により実技の実施に支障のある者は、試験当日、受付時に、医師の診断書を提出すること（この場合、実技を全く行わない者は、0点として取り扱うものとする。）。

※ 第2次試験の実技試験内容

志望種・志望教科	内 容
小学校	音楽（ピアノ伴奏による歌唱共通教材の弾き歌い（1番のみ。前奏及び後奏を入れる。楽譜は見てもよい。）。 ※ 小学校学習指導要領（平成20年3月）に記載されている、小学校第3学年から第6学年までの歌唱教材の共通教材（歌唱共通教材）の中から受験者が1曲を選択すること。歌唱教材の共通教材（歌唱共通教材）以外の曲を選択した者は、0点として扱うものとする。 ※ ピアノ伴奏をつけて、主旋律を歌唱すること。 ※ 調及び使用する楽譜は、特に指定しない。 体育（マット運動：連続技〈開脚前転→前転→ジャンプ1/2ひねり（方向転換）→後転→伸膝後転→側方倒立回転〉、水泳（25m、泳法自由）及びボール運動〈ボール投げ（9m程度）、ドリブルしながらの移動〉） 英語（試験当日提示するテーマに基づいた、簡単な英語表現（スピーキング）テスト）
中学校技術	木材加工における実技と道具の適切な使い方に関する試験
中学校家庭	被服製作実習の技能に関する試験 調理実習の技能に関する試験 ※ 裁縫道具は、試験室に準備したものを使用すること。
中・高等学校の英語	英会話（英語によるグループディスカッション）及び英語による個人面接 ※ 英語教員として求められる英語を十分に理解し、また使用することができるレベル（例：実用英語技能検定準1級、TOEFL iBT 80点程度等以上の英語力を持つレベル）
特別支援学校	体育（マット運動：連続技〈開脚前転→前転→ジャンプ1/2ひねり（方向転換）→後転→伸膝後転→側方倒立回転〉、水泳（25m、泳法自由）及びボール運動〈ボール投げ（9m程度）、ドリブルしながらの移動〉）
養護教諭	応急手当と救命処置の実技に関する試験

(4) 携行品

	携 行 品	注 意 事 項 等	
①	受験票	第1次試験で使用したもの	
②	筆記用具		
③	時計	計時機能だけのものに限る。	
④	実技試験に必要なもの（右表のとおり）	志望種・志望教科	携 行 品
		小学校	運動に適した服装、水着、水泳帽、上履き、靴入れ
		中学校技術	実技のできる服装、タオル、筆記用具（けがき用）、木工用具一式（ざし金、両刃のこぎり、平かんな、四つ目きり、のみ、げんのう、釘抜き、木づち、すじけびき）
		中学校家庭	調理実習着（白衣又はかっぽう着）、三角巾、手ふきタオル、布巾2枚
		特別支援学校	運動に適した服装、水着、水泳帽、上履き、靴入れ

(5) 試験結果

- ① 第2次試験の合格者数は、採用予定者数の1.5倍（採用予定者数が1人の場合は3倍）とする。ただし、小数点以下の端数は切り上げとする。
なお、合格ラインの範囲内であっても、成績が著しく低い場合には、合格者とししない。
※ 合格ライン：採用予定者数の1.5倍（採用予定者数が1人の場合は3倍）
※ 成績が著しく低い場合：第2次試験の得点率が40%（350点満点中140点）以下に該当する場合
- ② 第2次試験の結果は、平成28年9月9日（金）午前9時、大分県庁舎本館1階の県政掲示板（県民室横）に、第2次試験の合格者の受験番号を掲示するとともに、別途受験者全員宛て文書で通知する。

また、第2次試験の合格者の受験番号は、大分県教育委員会のホームページ (<http://kyouiku.oita-ed.jp/>) にも掲載する。

8 第3次試験

第2次試験の合格者について、教員として必要な人間性を判断するため、以下のとおり、第3次試験を実施する。
 なお、日程等の詳細は、第2次試験結果通知に併せて指示する。平成28年9月14日（水）を過ぎても第3次試験の日程の詳細が届かない場合は、5（5）の書類の提出先まで連絡すること。

(1) 期 日

平成28年9月19日（月）から平成28年9月25日（日）まで（予定）のうち、指定する日

(2) 試験場

大分県教育センター 大分市大字且野原847番地の2 電話 (097) 569-0118

ア 試験場内及び試験場周辺は、禁煙である。

イ 携帯電話は、試験場内では使用できない。

(3) 試験内容

試 験	内 容 等
面 接 I	集団面接・集団討論
面 接 II	個人面接

(注意)特別選考(Ⅲ)の試験内容については、別途指示する。

(4) 試験結果

第3次試験の結果は、平成28年10月14日（金）（予定）午前9時、大分県庁舎本館1階の県政掲示板（県民室横）に第3次試験の合格者の受験番号を掲示するとともに、別途受験者全員宛て文書で通知する。

また、第3次試験の合格者の受験番号は、大分県教育委員会のホームページ (<http://kyouiku.oita-ed.jp/>) にも掲載する。

なお、採用予定者数内であっても、第3次試験の成績が著しく低い場合は、合格者とししない。

※ 成績が著しく低い場合：第3次試験の得点率が40%（350点満点中140点）以下に該当する場合

9 各試験の配点

(1) 第1次試験（150点満点）

一般選考及び特別選考（Ⅰ）

志望種・志望教科		教養試験	専門試験	実技試験
中 学 校	音楽・美術・保健体育	50	50	50
高 等 学 校	保健体育			
上記以外		50	100	

特別選考（Ⅱ）

志望種・志望教科		小論文	実技試験
中学校	音楽・美術・保健体育	100	50
上記以外		150	

※ 第1次試験の合格者は、第1次試験の成績により決定する。

(2) 第2次試験（350点満点）

志望種・志望教科		模擬授業	口頭試問	体育実技	音楽実技	英語実技	実技試験
小学校		150	110	40	30	20	
中学校	技術・家庭・英語	180	120				50
高等学校	英語						
養護教諭		150	120				80
特別支援学校		180	130	40			
上記以外		200	150				

※ 養護教諭の模擬授業欄の点は、場面指導の点とする。

※ 第2次試験の合格者は、第2次試験の成績により決定する。

(3) 第3次試験 (350点満点) (特別選考 (Ⅲ) を除く)

志望種・志望教科	面接Ⅰ	面接Ⅱ
全志望種、志望教科	100	250

※ 第3次試験の合格者は、第2次試験及び第3次試験の総合成績(700点満点)により決定する。
特別選考(Ⅲ)

志望種・志望教科	プレゼンテーション	面接
高等学校・志望教科	200	200

※ 特別選考(Ⅲ)の合格者は、第3次試験の成績により決定する。

10 得点等の送付・開示

受験者全員に対して、第1次試験、第2次試験及び第3次試験の試験の得点及び総合点を、各試験の結果の通知とともに送付する(口頭による開示(簡易開示)は行わない。)

11 合格者の行う手続等

- (1) 第3次試験の合格者は、指定する日までに健康診断書(所定用紙)を提出すること。詳細は、第3次試験合格者に対して通知する。
- (2) 特別選考(Ⅱ)による第3次試験の合格者は、指定する日までに、民間企業・官公庁等において5年以上継続して勤務していることが分かる、勤務先が発行する在職証明書(様式は任意)を提出すること。

12 採用及び給与

- (1) 選考試験の合格者は、次の①から④までのいずれかに該当する場合を除き、平成29年4月1日付けで採用するものとする。
 - ① 平成29年4月1日以降、大学院修士課程、博士前期課程又は教職大学院(以下「大学院修士課程等」という。)での修学を希望する者は、申請に基づき下記ア又はイのとおり採用時期を延期する。
 - ア 大学院修士課程等に在学し修学を継続する場合は、最大1年間延期する。
ただし、教職大学院の3年制の1年に在学し修学を継続する場合は、最大2年間延期する。
 - イ 平成29年4月1日以降、大学院修士課程等に進学する場合は、最大2年間延期する。
ただし、教職大学院の3年制に進学する場合は、最大3年間延期する。
 - ② 特別選考(Ⅱ)の合格者は、研修を実施するため、平成29年1月に事務職員として採用する。研修期間を経て、平成29年4月1日付けで志望種の教諭として任用する。
 - ③ 養護教諭の合格者で、平成28年度中に実施される保健師国家試験の合格により得られる資格を基礎として養護教諭免許状を取得しようとするものは、当該免許状取得後に採用するものとし、それまでの期間は臨時的任用とする。
 - ④ 上記①から③までのほか、採用時期を変更することについて、特にやむを得ない事情があると認められる場合
- (2) 選考試験の合格者であっても、次の①から③までのいずれかに該当する場合は採用しない。
 - ① 受験した志望種・志望教科に応ずる教諭普通免許状又は特別免許状を取得見込みの者が、平成29年3月31日までに当該免許状を取得できない場合
 - ② 平成29年4月1日現在において、受験した志望種・志望教科の有効な普通免許状を有していない場合
 - ③ 大分県教育関係職員健康診断審議会の結果、「就労不可」と判断された場合
- (3) 願書等の記載事項に虚偽があった場合や、教員としてふさわしくない非違行為があった場合は、合格を取り消すことがある。
- (4) 平成28年4月1日現在の初任給は、教職調整額、義務教育等教員特別手当等を含み、大学卒約215,000円、短期大学卒約191,000円で、採用前の職歴を有する者は、条件に応じて加算される。また、在職期間等により期末・勤勉手当が支給される。この他に扶養手当、住居手当、通勤手当などが実態に応じて支給される。

13 その他

- (1) 台風等のため、試験の日程を変更する場合は、試験前日の午後3時以降に、大分県教育委員会のホームページ(<http://kyouiku.oita-ed.jp/>)に掲載する。
- (2) 体育実技試験を受験する者は、必要に応じて、事前に健康診断や医師の診察を受けるなど体調管理に十分注意すること。
- (3) 大分県公立学校教員採用選考試験に関する問い合わせ先は、「5の(5)書類の提出先」とする。ただし、試験当日の問い合わせ先は、各試験場とする。
- (4) 過去の試験問題等は、以下の場所で公開している。
大分県情報センター(大分県庁舎本館1階) 電話(097)506-2285
郵便番号 870-8501 大分市大手町3丁目1番1号
問い合わせ 9:00~17:00(土曜・日曜日及び祝日を除く。)

願書等記入上の注意

※電子申請利用者も、入力前に以下の注意をよく読み、各項目の入力について事前に把握してください。また、電子申請後の印刷物に各項目の入力事項が正しく表示されているかも、必ず確認して下さい。

【一般的な注意】

- (1) 黒のペン又はボールペンを用い、楷書で正確に書くこと。
- (2) ※印の欄は記入しないこと。
- (3) 選択を要するものは、該当するものを一つ○で囲むこと。
- (4) 訂正は、訂正箇所を二重線で消して訂正印を押し、傍らに正しいものを記入すること。
- (5) 「コード入力票」「写真票」は破線部で丁寧に切り離すこと。

【願書】

- (1) 「志望教科・科目」は、中・高等学校教諭志望者のみ記入すること。
高等学校の地理歴史・理科・工業の志望者については、地理歴史〔世界史〕・理科〔物理〕・工業〔機械〕のように志望科目等を〔 〕内に記入すること。
- (2) 「楽曲演奏用の楽器」は、中学校音楽志望者のみ、実技試験で使用する楽器名等を記入すること。(声楽の場合は、声楽と記入すること。)
- (3) 「実技選択種目」は、中・高等学校の保健体育志望者のみ、次の選択1から選択5までの各選択種目群のうちから、それぞれ1種目、合わせて5種目を出願時に選択すること。(下記の種目名の下線部のみを願書に記入すること。)

- 【選択1】 武道 (中学校志望者は、柔道、剣道、相撲から選択)
(高等学校志望者は、柔道、剣道から選択)
- 【選択2】 球技 (バスケットボール、バレーボール、ソフトボールから選択)
- 【選択3】 器械運動 (マット運動)、陸上競技 (ハードル走) から選択
- 【選択4】 ダンス (創作ダンス、現代的なリズムのダンスから選択)
- 【選択5】 水泳 (クロール、平泳ぎから選択: 50m)

- (4) 「第1次試験免除」は、以下のとおり記入すること。
 - ①「4 第1次試験の免除」(1)の①に関するもの(全員が必ず記入すること)
 - (i) 「前年度大分県公立学校教員採用選考試験受験状況」は、全ての志願者が、該当するものを一つ○で囲むこと。さらに、「1 1次合格し2次合格(H27選考高校世界史、生物、福祉含む)」を○で囲んだ者は、平成28年度大分県公立学校教員採用選考試験(以下「平成28年度選考」という。)における「受験番号」及び「願書記入の氏名」を記入すること。ただし、平成27年度大分県公立学校教員採用選考試験(以下「平成27年度選考」という。)における高校世界史、生物、福祉に該当する者は、平成27年度選考における「受験番号」及び「願書記入の氏名」を記入すること。
 - (ii) ①において、「1 1次合格し2次合格(H27選考高校世界史、生物、福祉含む)」を○で囲んだ者のみ、「第1次試験免除」の希望の有無について該当するものを一つ○で囲むこと。ただし、平成28年度選考において特別選考(Ⅱ)による第2次試験合格者は、第1次試験免除を希望することはできない。
 - ②「4 第1次試験の免除」(1)の②から④までのいずれかに該当する者は、県外での正規教員としての勤務年数(休職期間・育休期間を除く)を記入し、「第1次試験免除」の希望の有無について該当するものを一つ○で囲むこと。
- (5) 「採用延期の申請要件に該当する者」は、「12 採用及び給与」(1)の①による採用延期の申請要件の事項について「1 大学院修士課程等に進学予定者が合格した場合の採用延期」又は「2 大学院修士課程等に在学する者が合格した場合の採用延期」のいずれか該当するものを○で囲むこと。さらに、「採用延期」の希望の有無について該当するものを一つ○で囲むこと。
- (6) 「現住所」「上記以外の連絡先住所」は、詳しく記入すること。
- (7) 「電話」及び「携帯電話」は、連絡上必要が多いので、必ず記入すること。
- (8) 「学歴」は高等学校以降を記入し、大学等については学部・学科・専攻名を正確に記入すること。
- (9) 出願の時点で現に就職している者(臨時講師等を含む。)は、現在の勤務先についてのみを「職歴」の上段に記入し、下段は空欄とすること。
ただし、特別選考(Ⅱ)志望者は、職歴を全て記入すること。欄が不足する場合は、別紙を添付すること(様式は願書の職歴欄に準ずること。)
- (10) 「所有教員免許状」は、所有している教員免許状を下記のとおり記入すること。
 - ①「志望種別に応ずる免許状」には、志望種別に応ずる免許状を記入し、それ以外の免許状については「上記以外の免許状」に記入すること。
ただし、特別支援学校教諭志望者は、特別支援学校教諭普通免許状又は盲・聾・養護学校のいずれかの教諭普通免許状に加えて、小学部志望者は小学校教諭普通免許状、中学部志望者は中学校教諭普通免許状、高等部志望者は高等学校教諭普通免許状を「志望種別に応ずる免許状」に記入すること。また、水産(機関)教諭志望者は、水産又は商船の高等学校教諭普通免許状及び3級以上の海技士(機関)の海技免許状を、水産(航海)教諭志望者は、水産又は商船の高等学校教諭普通免許状及び3級以上の海技士(航海)の海技免許状を「志望種別に応ずる免許状」に記入すること。なお、海技免許状については種類を3級海技、教科・領域を水産(機関)教諭志望者は機関、水産(航海)教諭志望者は、航海と記入すること。
 - ②同一校種・同一教科については、上級免許状のみ記入すること。
(例) 小学校教諭専修免許状と小学校教諭一種免許状 → 小学校教諭専修免許状のみ
 - ③「種類」は、次のように略記すること。

小学校教諭	小	聾学校教諭	聾
中学校教諭	中	養護学校教諭	養学
高等学校教諭	高	特別支援学校教諭	特支
盲学校教諭	盲	養護教諭	養

専修免許状	専
一種免許状	1
二種免許状	2

(例) 小学校教諭一種免許状→小1

- ④中・高等学校教諭免許状については、「教科・領域」に教科名を記入すること。
また、特別支援学校教諭免許状については、「教科・領域」に領域名を記入すること。
- ⑤司書教諭資格を所有している場合は、「種類」に「司書教諭」と記入すること。
- (11) 試験場において配慮を必要とする者、特別選考(1)による特別支援学校教諭志望者で第2次試験の実技試験の一部又は全ての免除を希望する者は、「受験上の配慮」に具体的に記入すること。
- (12) 署名は、自署すること。また、記入した日付も記入すること。
- (13) 所定の箇所に写真を貼ること。

【コード入力票】

- (1) 現職コードは、全員が記入すること。
- (2) 現勤務校コードは、出願時に現に学校に勤務している者のみ記入すること。
- (3) 実技選択種目コードは、中・高等学校保健体育志望者のみ記入すること。
- (4) 最終学歴は、免許状取得のための通信教育部や科目履修等は記入しないこと。
- (5) 免許コード①もしくは②には、志望種別に応ずる教員免許状のみ記入すること。
※高等学校水産(機関)教諭、高等学校水産(航海)教諭又は特別支援学校教諭志望者は、①②ともに記入すること。
※高等学校水産(機関)教諭又は高等学校水産(航海)教諭志望者は、海技免状のコードを②に記入すること。
- (6) 破線部で切り離して提出すること。

【写真票】

- (1) 願書と同一の写真を貼ること。
- (2) 志望種、志望教科・科目(中・高等学校教諭志望者のみ)を記入すること。
- (3) 破線部で切り離して提出すること。

コード入力票用 コード番号

【志望コード】

志望種	教科・科目等	コード	教科・科目等	コード
小学校教諭	小学校	11		
中学校教諭	国語	21	家庭	26
	社会	22	音楽	27
	数学	23	美術	28
	理科	24	保健体育	29
	技術	25	英語	30
高等学校教諭	国語	51	保健体育	59
	地理歴史〔世界史〕	52	英語	60
	地理歴史〔地理〕	53	農業	61
	公民	54	工業〔機械〕	62
	数学	55	水産(機関)	63
	理科〔物理〕	56	水産(航海)	64
	理科〔化学〕	57	福祉	65
	理科〔生物〕	58	その他の教科・科目	66
特別支援学校教諭	小学部	71	高等部	73
養護教諭	養護教諭	81		

【実技選択種目コード】

中学校又は高等学校の保健体育志望者のみ

選択種目	コード	選択種目	コード
柔道	11	マット運動	17
剣道	12	ハードル走	18
相撲(中学校志望者のみ選択可)	13	創作ダンス	19
バスケットボール	14	現代的なリズムのダンス	20
バレーボール	15		
ソフトボール	16		

選択種目	コード	選択種目	コード
		クロール	21
		平泳ぎ	22

◎願書記入例

平成29年度大分県公立学校教員採用選考試験願書

受験番号: [] 志望種別: []

志望種: []

志望教科・科目: []

第1次試験免除: []

採用延期: []

氏名: 大分 花子

現住所: 大分市府内町3丁目10番1号

学歴: []

職歴: []

所教免許状: []

記入例: 大分 花子

【学校コード】

国立大学	コード	愛知県立大学	178	東京女子体育大学	256	相愛大学	334
北海道大学	101	愛知県立芸術大学	179	東京造形大学	257	帝塚山学院大学	335
北海道教育大学	102	滋賀県立大学	180	東京電機大学	258	阪南大学	336
弘前大学	103	京都市立芸術大学	181	東京農業大学	259	桃山学院大学	337
岩手大学	104	京都府立大学	182	東京福祉大学	260	芦屋大学	338
東北大学	105	大阪市立大学	183	東京理科大学	261	関西学院大学	339
宮城教育大学	106	大阪府立大学	184	東邦大学	262	甲南大学	340
秋田大学	107	神戸外国語大学	185	東朋学園大学	263	甲南女子大学	341
山形大学	108	兵庫県立大学	186	東洋大学	264	神戸学院大学	342
福島大学	109	尾道大学	187	二松学舎大学	265	神戸国際大学	343
茨城大学	110	広島市立大学	188	日本大学	266	神戸松蔭女子学院大学	344
筑波大学	111	県立広島大学	189	日本女子大学	267	神戸女子大学	345
宇都宮大学	112	下関市立大学	190	日本女子体育大学	268	園田学園女子大学	346
群馬大学	113	山口県立大学	191	日本体育大学	269	姫路獨協大学	347
埼玉大学	114	高知県立大学(高知女子大学)	192	文化学園大学(文化女子大学)	270	兵庫大	348
千葉大学	115	高知工科大学	193	法政大学	271	武庫川女子大学	349
東京大学	116	北九州市立大学	194	武蔵大学	272	帝塚山大学	350
東京外国語大学	117	福岡県立大学	195	武蔵野音楽大学	273	天理大学	351
東京学芸大学	118	福岡女子大学	196	武蔵野美術大学	274	奈良大	352
東京農工大学	119	長崎県立大学	197	明治大学	275	高野山大学	353
東京芸術大学	120	熊本県立大学	198	明治学院大学	276	私立大学(中国・四国地区)	コード
東京工業大学	121	大分県立石護科学大学	199	明星大学	277	岡山理科大学	354
一橋大学	122	宮崎公立大学	200	立教大学	278	川崎医療福祉大学	355
お茶の水女子大学	123	沖縄県立芸術大学	201	立正大学	279	吉備国際大学	356
電気通信大学	124	名桜大学	202	和光大学	280	くらしき作陽大学	357
横浜国立大学	125	その他の公立大学	203	早稲田大学	281	就実大	358
新潟大学	126	私立大学(関東以北)	コード	早稲田大学	282	ノートルダム清心女子大学	359
上越教育大学	127	仙台大学	204	鎌倉女子大学	283	美作大	360
山梨大学	128	東北福祉大学	205	関東学院大学	284	エリザベト音楽大学	361
信州大学	129	流通経済大学	206	相模女子大学	285	広島経済大学	362
富山大学	130	跡見学園女子大学	207	女子美術大学	286	広島修道大	363
金沢大学	131	城西大学	208	洗足学園音楽大学	287	広島女学院大学	364
福井大学	132	女子栄養大学	209	フェリス学院大学	288	広島文教女子大	365
岐阜大学	133	駿河台大学	210	山梨学院大学	289	安田女子大	366
静岡大学	134	東京国際大学	211	長野大	290	東亜大	367
名古屋大学	135	東邦音楽大学	212	私立大学(東海・北陸・近畿地区)	コード	徳山大学	368
愛知教育大学	136	獨協大学	213	金沢工業大学	291	山口学芸大学	369
三重大学	137	文教大学	214	岐阜経済大学	292	梅光学院大	370
滋賀大学	138	明海大学	215	岐阜女子大学	293	四国大	371
京都大学	139	国際武道大学	216	岐阜聖徳学園大学	294	徳島文理大学	372
京都教育大学	140	秀明大学	217	東海学院大学	295	松山学院大	373
京都工芸繊維大学	141	淑徳大	218	愛知大	296	松山大	374
大阪大学	142	青山学院大学	219	愛知学院大学	297	私立大学(九州地区)	コード
大阪教育大学	143	亜細亜大学	220	中京大	298	九州共立大学	375
兵庫教育大学	144	大妻女子大学	221	至学館大学(中京女子大学)	299	九州国際大学	376
神戸大学	145	学習院大学	222	同朋大	300	九州産業大	377
奈良教育大学	146	北里大学	223	名古屋芸術大学	301	九州女子大	378
奈良女子大学	147	共立女子大学	224	名古屋女子大学	302	久留米大	379
和歌山大学	148	杏林大学	225	南山大	303	久留米工業大	380
鳥取大学	149	国立音楽大学	226	日本福祉大学	304	西南学院大学	381
島根大学	150	慶應義塾大学	227	名城大	305	西南女学院大	382
岡山大学	151	工学院大学	228	皇学館大	306	第一薬科大学	383
広島大学	152	工學院大	229	大谷大	307	筑紫学園大	384
山口大学	153	国士舘大	230	京都外国語大	308	東和大	385
徳島大学	154	国際基督教大	231	京都光華女子大	309	西村学園大	386
鳴門教育大学	155	駒澤大	232	京都産業大	310	中日工業大	387
香川大学	156	実践女子大	233	京都女子大	311	福岡大	388
愛媛大学	157	芝浦工業大	234	京都造形芸術大	312	福岡工業大	389
高知大学	158	順天堂大	235	京都橘大	313	福岡女学院大	390
福岡教育大学	159	上智大	236	同志社大	314	西九州大	391
九州大学	160	昭和女子大	237	同志社女子大	315	活水女子大	392
九州工業大学	161	成蹊大	238	花園大	316	長崎外国語大	393
佐賀大学	162	成城大	239	佛教大	317	長崎国際大	394
長崎大学	163	専修大	240	立命館大	318	長崎純心大	395
熊本大学	164	創価大	241	龍谷大	319	長崎総合科学大	396
大分大学	165	大正大	242	大阪大谷大	320	九州看護福祉大	397
宮崎大学	166	大東文化大	243	大阪音楽大	321	熊本学園大	398
鹿児島大学	167	拓殖大	244	大阪学院大	322	尚絅大	399
鹿屋体育大学	168	玉川大	245	大阪経済大	323	崇城大	400
琉球大学	169	多摩美術大	246	大阪経済法科大	324	日本文理大	401
その他の国立大学	170	多摩中央大	247	大阪芸術大	325	別府大	402
公立大学	コード	津田塾大	248	大阪工業大	326	立命館アジア太平洋大	403
釧路公立大学	171	帝京大	249	大阪国際大	327	九州保健福祉大	404
都留文科大学	172	東海大	250	大阪産大	328	南九州大	405
都会津大学	173	東京音楽大	251	大阪体大	329	宮崎産業経営大	406
埼玉県立大学	174	東京家政大	252	大阪電気通信大	330	宮崎国際大	407
金沢美術工芸大	175	東京家政学院大	253	関西大	331	鹿児島国際大	408
横浜市立大	176	東京経済大	254	関西外国語大	332	鹿児島純心女子大	409
静岡県立大	177	東京女子大	255	近畿大	333	第一工業大	410

【学校コード】

私立大学	コード	久留米信愛女学院短期大学	420	福岡こども短期大学	431	宮崎学園短期大学	442
その他の私立大学	411	香蘭女子短期大学	421	九州龍谷短期大学	432	聖心ウルスラ学園短期大学	443
短期大学	コード	純真短期大学	422	佐賀女子短期大学	433	鹿児島国際大学短期大学部	444
愛知産業大学短期大学部	412	精華女子短期大学	423	長崎外国語短期大学	434	鹿児島純心女子短期大学	445
関西女子短期大学	413	西南女学院大学短期大学部	424	長崎女子短期大学	435	鹿児島女子短期大学	446
島根県立女子短期大学	414	筑紫女学院大学短期大学部	425	尚綱大学短期大学部	436	第一幼児教育短期大学	447
福山女子短期大学	415	中科学園大学短期大学部	426	大分県立芸術文化短期大学	437	その他の短期大学(部)	448
九州大谷短期大学	416	西日本短期大学	427	大分短期大学	438	その他の学校	コード
九州女子短期大学	417	東筑紫短期大学	428	東九州短期大学	439	その他の学校	449
九州造形短期大学	418	福岡女学院大学短期大学部	429	別府大学短期大学部	440		
近畿大学九州短期大学	419	福岡女子短期大学	430	別府溝部学園短期大学	441		

【学部等コード】

大学院(博士課程)	コード	学部等	コード	学部等	コード	学部等	コード
大学院(博士課程)	11	学芸学部	20	商学部	31	法学部	42
大学院(修士課程)	コード	学校教育学部	21	人文学部	32	法文学部	43
教職大学院(専門修士課程)	12	看護学部	22	生活科学部	33	法経学部	44
教育学研究科	13	教育学部	23	政治経済学部	34	保健学部	45
工学研究科	14	教育福祉科学部	24	造形学部	35	理学部	46
理学研究科	15	教養学部	25	総合科学部	36	理工学部	47
その他の研究科	16	経営学部	26	体育学部	37	その他の学部	48
大学の専攻科	17	経済学部	27	農学部	38		
学部等	コード	芸術学部	28	美術学部	39	短期大学・その他の学校	50
音楽学部	18	工学部	29	文学部	40		
外国語学部	19	社会学部	30	文理学部	41		

【現職コード】

職歴	コード	職歴	コード	職歴	コード	職歴	コード
大学等在学中	1	無職(過去に職歴あり)	3	講師(臨時的任用)・非常勤講師	5	正規職員(学校以外)	7
無職(過去に職歴なし)	2	教諭	4	学校に勤務する上記以外の職員	6	臨時的任用職員(学校以外)	8

【現勤務校コード】 = 出願時に学校(小・中・高等学校及び特別支援学校)に勤務している者のみ

学校名	コード	学校名	コード	学校名	コード	学校名	コード
県内の小・中学校	11	大分商業高等学校	26	玖珠美山高等学校	41	宇佐支援学校	56
高田高等学校	12	芸術緑丘高等学校	27	日田高等学校	42	中津支援学校	57
国東高等学校	13	大分西高等学校	28	日田三隈高等学校	43	由布支援学校	58
杵築高等学校	14	爽風館高等学校	29	日田林工高等学校	44	別府支援学校	59
日出総合高等学校	15	大分鶴崎高等学校	30	中津南高等学校	45	新生石垣支援学校	60
別府鶴見丘高等学校	16	鶴崎工業高等学校	31	中津北高等学校	46	新石支支援学校	61
別府青山高等学校	17	情報科学高等学校	32	中津東高等学校	47	大分支支援学校	62
別府羽室台高等学校	18	大分東高等学校	33	宇佐高等学校	48	臼杵支援学校	63
別府翔青高等学校	19	由布高等学校	34	宇佐産業科学高等学校	49	佐伯支援学校	64
大分上野丘高等学校	20	臼杵高等学校	35	安心院高等学校	50	竹田支援学校	65
大分舞鶴高等学校	21	津久見高等学校	36	別府商業高等学校	51	日田支援学校	66
大分雄城台高等学校	22	佐伯鶴城高等学校	37	県内の私立高等学校	52	県外の小・中学校	67
大分南高等学校	23	佐伯豊南高等学校	38	盲学校	53	県外の高等学校	68
大分豊府高等学校	24	三重総合高等学校	39	聾学校	54	その他の特別支援学校	69
大分工業高等学校	25	竹田高等学校	40	日出支援学校	55		

【免許コード】

小学校/中学校/特別支援学校/養護教諭/その他

校種(教科)	専修	一種	二種
小学校教諭	101	111	121
中学校教諭(国語)	201	211	221
中学校教諭(社会)	202	212	222
中学校教諭(数学)	203	213	223
中学校教諭(理科)	204	214	224
中学校教諭(保健体育)	205	215	225
中学校教諭(音楽)	206	216	226
中学校教諭(美術)	207	217	227
中学校教諭(家庭)	208	218	228
中学校教諭(英語)	209	219	229
中学校教諭(技術)	210	220	230
盲学校教諭	401	411	421
聾学校教諭	402	412	422
養護学校教諭	403	413	423
特別支援学校教諭	404	414	424
養護教諭	501	511	521
その他	901	911	921

高等学校

校種(教科)	専修	一種
高等学校教諭(国語)	301	351
高等学校教諭(社会)	302	352
高等学校教諭(地理歴史)	303	353
高等学校教諭(公民)	304	354
高等学校教諭(数学)	305	355
高等学校教諭(理科)	306	356
高等学校教諭(保健体育)	307	357
高等学校教諭(音楽)	308	358
高等学校教諭(美術)	309	359
高等学校教諭(書道)	310	360
高等学校教諭(英語)	311	361
高等学校教諭(家庭)	312	362
高等学校教諭(農業)	313	363
高等学校教諭(工業)	314	364
高等学校教諭(商業)	315	365
高等学校教諭(看護)	316	366
高等学校教諭(情報)	317	367
高等学校教諭(福祉)	318	368
高等学校教諭(水産)	319	369
高等学校教諭(船舶)	320	370
その他	901	911

司書教諭資格	951
3級以上の海技士(機関)免状	952
3級以上の海技士(航海)免状	953

平成29年度大分県公立学校教員採用選考試験の主な日程

平成28年5月20日(金)～6月8日(水)	電子申請入力期間
平成28年5月27日(金)～6月10日(金)	願書受付
平成28年7月17日(日)	第1次試験
平成28年7月29日(金)	第1次試験結果発表及び通知
平成28年8月10日(水)～8月19日(金) (予定)のうち、指定する日	第2次試験
平成28年9月9日(金)	第2次試験結果発表及び通知
平成28年9月19日(月)～9月25日(日) (予定)のうち、指定する日	第3次試験
平成28年10月14日(金)(予定)	第3次試験結果発表及び通知

【問い合わせ先】

大分県教育庁教育人事課

〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号

電話 097-506-5518

ホームページ <http://kyouiku.oita-ed.jp/>

平成28年3月高等学校新規卒業者の就職状況の推移について

高校教育課

1 就職内定率推移(月別)

年卒	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
平成28年3月卒 (A)	50.0	81.9	88.7	93.4	94.4	97.5	99.2
平成27年3月卒 (B)	50.4	79.6	86.7	91.5	95.0	97.3	99.1
対前年比較 (A) - (B)	0.4	2.3	2.0	1.9	0.6	0.2	0.1

(単位:%)

2 県内就職状況

就職内定者のうち県内で内定した者の割合(県内就職率) 73.8%(昨年度同期73.0%)

3 就職未内定者推移(月別)

年卒	9月末	10月末	11月末	12月末	1月末	2月末	3月末
平成28年3月卒 (A)	1,349	484	300	176	149	65	22
平成27年3月卒 (B)	1,349	544	354	225	131	69	24
対前年比較 (A) - (B)	0	60	54	49	18	4	2

(単位:人)

(大分労働局データによる)

[平成27年度教育委員会の取組]

県内企業と高校の情報交換会：6月4日実施

経済5団体への求人枠確保の要請(教育長、商工労働部長、大分労働局職業安定部長)：6月15日実施

高校生向け企業説明会(元氣おおいた就職博)：6月27日実施

高校生のための就職面接会：11月5日実施

県教育委員会の学校訪問(現状把握、今後の取組等の指導)：11月、1月に実施

平成27年度「地域産業を担う農林水産高校生育成事業」の取組について

高校教育課

地域産業を担う農林水産高校生育成事業

[目的]

地域の大規模生産者や食品加工・流通業者等と連携し、各現場で必要とされている知識や技術の定着を行うなど地域産業を担う人材育成を図る。

[取組内容]

1. 地域産業を担う人材育成システムの構築

(1) 成長産業化推進リーダー育成協議会の設置

組織：生産者（農林漁業者）、企業（食品産業、農業法人）

行政（教育委員会、知事部局等）、学校

2. 次代を担う人材に求められる能力育成の取組

(1) 外部人材による産業の魅力を発信する講義、農業大学校での先進農業研修

(2) 外部人材による経営改善を図る技術指導

(3) 大規模農家や加工業者での体験学習、加工業者との試作品製作による開発や技術指導、流通現場での学校製作品の店頭販売実習

(4) 実践的な活動内容の成果発表、生徒による地域の小中学校等での出前授業

（例）玖珠美山高校「トマト栽培でのバーク（杉の樹皮）の活用」

大分東高校 「リボ・ベジ（野菜の再生栽培）によるゴミの減量化」

[成果]

1. 各学校ごとに地域や地域産業界と連携した人材育成協議会を設置し、地域の強みを活かした学校の特色作りへの取組に対しての協力体制が構築された。

2. 各学校が切磋琢磨し大会等で上位入賞をねらう雰囲気が醸成され、その結果として県全体の専門性が向上している。

< 農業クラブ全国大会入賞状況 >

農業クラブ全国大会：農業系学科の生徒が知識・技術等を競う大会

H25 1部門（全国46位） 宇佐産業（最優秀）

H26 3部門（全国34位） 久住（2）、国東

H27 5部門（全国26位） 久住（3）、国東、玖珠美山

3. 農業科からの国公立4年制大学へ平成23年以来、4年ぶりの合格者があった。（3名） 「鹿児島大学」（大分東2名）、「島根大学」（国東1名）

今後について

- ・地域に根ざした学校の特色化を推進するために連携をさらに強化する。
- ・各学校の取組を地域や地域産業界に積極的に情報発信（PR）していく。

農林水産業教育の推進に向けた
県立高校と関係機関等との連携状況報告

平成 2 8 年 4 月

大分県教育庁高校教育課

目 次

1 農林水産業系学科の設置状況について

農林水産業系学科設置校	配置状況（平成28年度）	1
農林水産業系学科設置校	電話番号一覧（平成28年度）	1
農林水産業系学科設置校	組織概要と主な業務の例	2
農林水産系学科設置校の状況		3

2 関係機関との連携状況について

国東高等学校	4
日出総合高等学校	5
大分東高等学校	6
津久見高等学校海洋科学校	7
佐伯鶴岡・佐伯豊南高等学校	8
三重総合高等学校	9
三重総合高等学校久住校	10
玖珠美山高等学校	11
日田林工高等学校	12
宇佐産業科学高等学校	13
大分県学校農業クラブ連盟	14

3 高校から振興局に連絡等を行う場合の方法について

振興局	組織概要と主な業務（例）	15
振興局	農林水産業関係部署の業務内容（例）	16
振興局	配置状況（平成28年度）	17
振興局	農林水産業関係窓口 電話番号一覧（平成28年度）	17
就農学校・ファーマーズスクールの設置状況		18
高校から振興局に連絡等を行う場合の方法		19

〔 参考資料 〕

農林水産業系学科設置校	学校案内	20
		~ 30

1 農林水産業系学科の設置状況について

農林水産業系学科設置校 配置状況 (平成28年度)



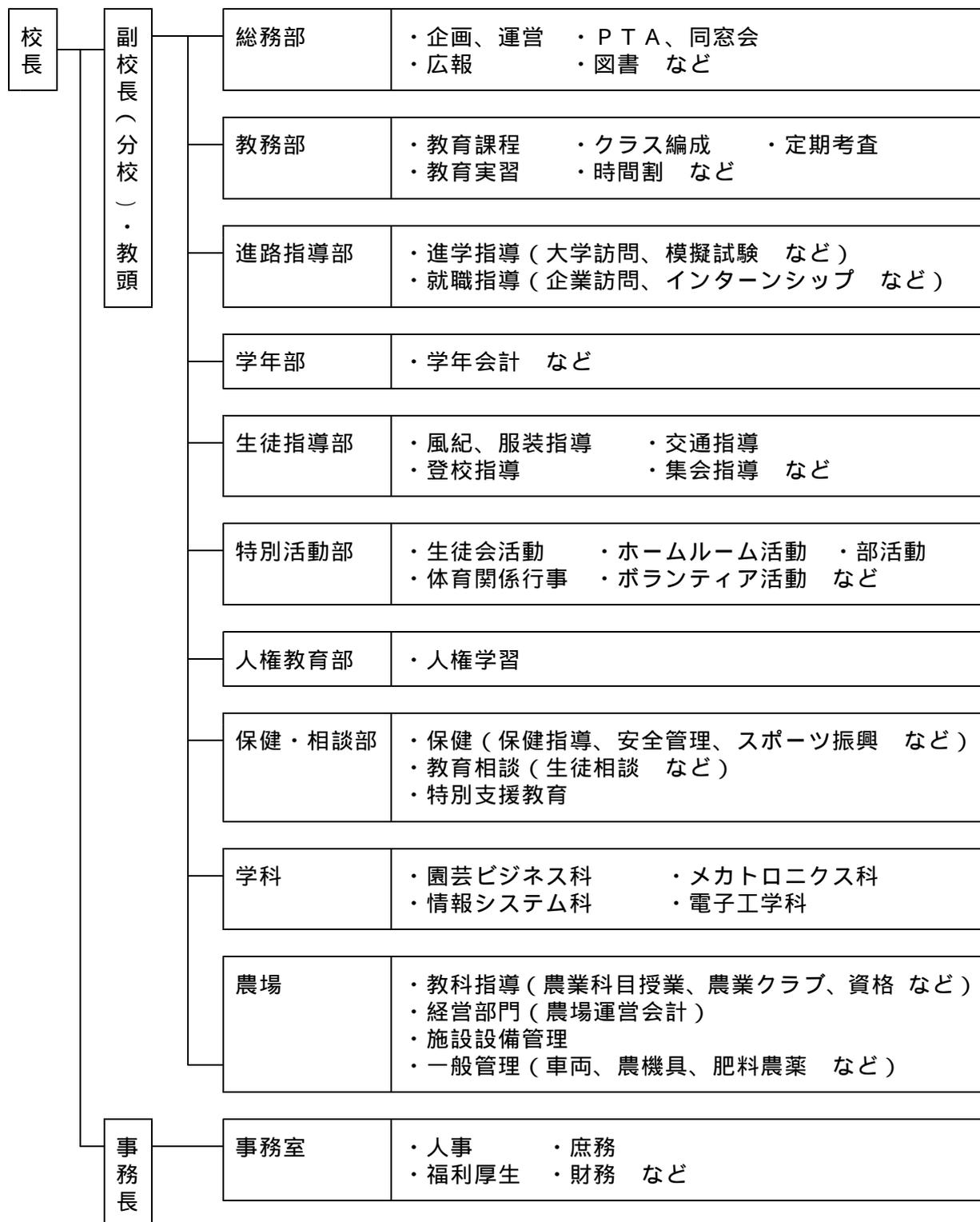
農林水産業系学科設置校 電話番号一覧 (平成28年度)

振興局	高校名	農業系学科名	代表電話番号	備考
東 部	国東	園芸ビジネス科	0978-72-1325	
	日出総合	農業経営科	0977-72-2855	
中 部	大分東	園芸ビジネス科	097-592-1064	H25.4 農業系学科 開設 "
		園芸デザイン科		
南 部	海洋科学学校	海洋科	0972-63-3678	
	佐伯豊南	食農ビジネス科	0972-22-2361	H26.4 開校 (佐伯豊南・佐伯鶴岡 統合)
豊 肥	三重総合	生物環境科	0974-22-5500	
	久住校	農業科	0974-77-2200	
西 部	玖珠美山	地域産業科	0973-72-1148	H27.4 開校
	日田林工	林業科	0973-22-5171	
北 部	宇佐産業科学	グリーン環境科	0978-32-0044	

農林水産業系学科設置校 組織概要と主な業務の例

(国東高校 参考)

各部、学科、農場には主任（総括責任者）を配置



【振興局との連絡窓口】

窓 口	連 絡 内 容
副校長・教頭	・連携会など組織的行事の打合せ ・インターンシップの打合せ など
農場主任	・野菜、果樹等、分野（類型）の技術連携等、実務者レベルの調整 ・連携会等、組織的行事の具体的内容の検討等、実務者レベルでの調整

2 関係機関との連携状況について

国東高等学校における関係機関との連携例

連携先： 合同会社アレグリー
 日 時： 平成27年12月10日
 場 所： 国東市武蔵町手野

概 要	ビニールハウスを利用したこねぎの周年施設栽培の見学及び実習
内 容	<p>三年生の課題研究にねぎ栽培のテーマを設定したことや、ねぎ栽培の農業法人への就職を希望する生徒がいることから、ねぎ栽培に係わる先進地研修を計画した。そのような中、地元でこねぎ栽培を始めた合同会社アレグリー代表の谷口義樹さんの協力により、こねぎ生産における経営計画等の説明や施設見学及び収穫・調整を体験することができた。当日の内容は以下のとおりである。</p> <p>(講義内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業をするようになった動機 現在の経営状況 今後の経営計画 <p>(実習体験)</p> <ul style="list-style-type: none"> こねぎの管理作業 土壌消毒後に発生する雑草の種類及びその除去方法 収穫・調整体験 こねぎの収穫方法及び出荷前準備 <p>(講師) 合同会社アレグリー代表 谷口 義樹氏(静岡県出身)</p> <p>(来歴) 大学卒業と同時に移住し、平成27年の春、国東市武蔵町の約5千㎡の畑を借りてこねぎ生産を始めた。栽培から出荷までを一人で行い、主な出荷先はJ A国東である。</p> <p>なお、会社の事業として、関アジ・関サバの卸売りも行っている。</p>
成 果	<p>農業をはじめるとなった動機など、就農する際の情報を得ることができた。講師の農業に対する姿勢を学ぶ中で、就農に対する自信と誇りに共感を持つことができた。</p> <p>管理作業に関する技術指導で、除草作業の大切さなども学ぶことができた。</p> <p>適期収穫の重要性や、少人数経営ならではの出荷方法、出荷先の選定など、栽培技術だけでなく、収穫後の販売までを学ぶことができた。</p>



日出総合高等学校における関係機関との連携例

連携先：宮川農園

日 時：平成27年12月9日（水） 9時40分～11時30分

場 所：杵築市大田

概 要	<p>参加者：農業経営科2年食品製造類型生8名 引率教師2名</p> <p>宮川農園にて菌床栽培のキノコを収穫し、販売等の流通について説明を受けた。</p>
内 容	<p>〔実習〕 菌床栽培のシイタケ・ナメコ・ヒラタケの収穫実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのキノコに適した収穫方法についての説明。 ・商品としてのキノコの丁寧な扱い方についての説明。 <p>〔講義・説明〕 キノコの流通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キノコの販売先（市場・ホテル・飲食店） ・キノコの品質管理の徹底 品質を保つことが信用維持。 ・注文への対応 不足分は他から購入してでも補う。 <p>本校との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の作った菌床ブロックを使って栽培。 ・宮川農園のシイタケを使った「しいたけ旨辛漬」の販売。 <p>宮川さんについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介を交えた家族紹介 ・宮川さんの経歴
成 果	<p>キノコを商品として販売するためのしっかりした技術や考え方を学ぶことができた。</p> <p>自分たちの作った菌床ブロックで栽培したキノコが消費者に届くまでの大切さを学び、菌床ブロックの作成に今まで以上に真剣に取り組むようになった。</p> <p>農業をする難しさだけでなく魅力についても教わり、農業を進路の1つに考えるようになった。</p>



大分東高等学校における関係機関との連携例

連携先： 大分市立小佐井小学校

日 時： 平成27年6月15日(月) 14:50~15:35 5・6年対象
 平成27年10月6日(火) 14:50~15:35 4年対象

場 所： 小佐井小学校

概 要	『小佐井小学校と大分東高校のエコ学習会』 本校生徒がプロジェクト活動として取り組む「リボベジ活動」を通して、植物の再生能力や環境への配慮について学ぶ。
内 容	<p>1. 実施内容 リボーンベジタブル活動の説明と体験による環境教育</p> <p>2. 対象児童 小佐井小学校4年生から6年生全員</p> <p>3. 本校生徒 園芸デザイン科2年4名(農業同好会)</p> <p>4. 実施内容</p> <p>はじめに ・小学校からの概要説明 ・高校生自己紹介</p> <p>取組説明 大分東高校生によるリボベジの説明 ・リボベジとは ・リボベジの具体的方法 ・リボベジの環境効果 など</p> <p> プレゼンテーションとポスターセッション形式での説明</p> <p>リボベジ体験 豆苗を使った水耕栽培</p> <p>まとめ</p>
成 果	<p>自らが取り組んでいるプロジェクト学習を小学生に発表することを通して、自身の取組に対する振り返りにつながっている。</p> <p>児童が興味関心を抱いた様子を実際に見ることで、活動を行う生徒たちの自信につながっている。</p> <p>生徒たちは、児童に分かり易く伝える工夫を思考することで、プレゼンテーション能力が培われた。</p> <p>体験学習を通じて、自分よりも小さな子どもたちへのコミュニケーションの取り方を学ぶことができた。</p>



津久見高等学校海洋科学学校における関係機関との連携例

連携先： 大分県漁業協同組合臼杵支店、臼杵市（学校給食センター、産業観光課）（うすき海のほんまもん漁業推進協議会専門部会員）

大分県産業教育振興会、臼杵市港町商店街振興組合、(株)カスガ水産

日 時： 9 月中に試作、10 月中に 5 回に分けて生産、11 月 6 日の提供
10 月 24 日、11 月 22 日

場 所： （生産）津久見高校海洋科学学校、（提供先）臼杵市内の全小中学校
ガレリア竹町（10/24）、港町商店街（11/22）

概 要	「すり身コロッケ」3,500 食分臼杵市内の全児童生徒の給食で提供 マグロ解体ショー
内 容	<p>臼杵産魚のブランド確立と地産地消を目的に設置されている「うすき海のほんまもん漁業推進協議会」の専門部会において、小中学校の給食で提供したいという提案があった。9 月中にタチウオと八モを原料とした「すり身コロッケ」の試作、製品化に取り組み、11 月 6 日の給食で臼杵市内小中学校の全児童生徒に提供。提供日には近隣の小学校に本校生が出向き、「すり身コロッケ」の製造について話す時間を頂いた。</p> <p>各機関の依頼を受け、「大分さんフェア」や「港町だよ！全員集合」において、授業で行っている魚さばきの技術を利用し多くの県民の前で大型魚（マグロ）の解体ショーを披露する。</p>
成 果	<p>タチウオ（約 1550 尾）を使った製品製造を通じて、大量の魚をさばく実習を行うことができ、技術の向上につながった。</p> <p>また、実習製品を通して地元小中学校の児童生徒に本校のことを知ってもらうことができた。</p> <p>大勢の来場者を前にしたマグロ解体ショーを行うことで、技術の向上だけでなく、解体ショーを解説する生徒もプレゼンテーション能力の向上につながった。</p>



佐伯鶴岡・新佐伯豊南高等学校における関係機関との連携例

学校名： 大分県立佐伯鶴岡・新佐伯豊南高校

連携先： 佐伯海産・道の駅やよい、南部振興局など

日 時： 5月8日、6月19日、9月16, 17, 18日、10月1, 9, 23, 24, 30日

場 所： 佐伯海産・道の駅やよい、和楽、南部保健所、社会福祉事務所、教育事務所、和楽、警察署、市役所など

概 要	<p>食農ビジネス科は6次産業化に対応できる人材の育成を目指しており、生産・加工・販売を農業実習の柱としている。そこで、本校農業教育を地域の方に理解して頂くと共に、販売についての学習を目的として、学校製作品の販売実習を実施している。</p>
内 容	<p>本校3年生は、5類型(野菜・果樹・草花・食品製造・食品流通)に分かれ、選択・課題研究・総合実習を行っている。それぞれの生徒が、生産のみならず流通についても学ぶことを目的に販売実習を行っている。</p> <p>具体的には、食品流通以外の4類型の生産物を、地域の事業所や官公庁などに出向き、生産物の特性や生産したときの苦労した点などを説明しながら、販売している。食品流通選択生は、4類型の生産物全ての販売を行い、加工品の箱詰めやラッピングをするなど付加価値をつけ、つけない場合と売れ行きにどのような違いがあるかなども研究している。</p> <p>食品流通選択生は、月に一回程度、野菜・果樹・草花選択生は、生産物の多い9月から10月、食品製造選択生は、パンやクッキーを多く作ったときを中心に行っている。</p>
成 果	<p>学校内では、教師や友達としか接することがないが、外部販売をすることにより接客とはどういうことかを肌で感じる事が出来た。具体的には、販売することの大変さ(簡単には売れない・言葉遣い)お客様に説明することの難しさ(特性・栽培方法など)を知ることが出来た。このような経験が今後の学習(課題研究発表など)に活かされるとともに、卒業後、進学・就職してからのコミュニケーション能力の育成につながった。</p>



三重総合高等学校における関係機関との連携例

連携先：有限会社 お花屋さんぶんど清川 代表取締役 小久保 恭一 氏

原尻の滝

日 時：平成27年11月9日(月)

場 所：大分県豊後大野市清川町

大分県豊後大野市緒方町原尻

概 要	『菊切り花(白色輪菊)の周年栽培技術と農業生産物の 流通開拓の戦略について』
内 容	<p>お花屋さんぶんど清川の小久保恭一氏は、輪菊の周年モデル栽培をする為に10年前に大分県豊後大野市に移住。</p> <p>生産だけでなく、白い輪菊を葬儀花として定着させる営業活動も勢力的にこなし『菊こそが仏花』というイメージを日本に根付かせた方としても有名。</p> <p>本研修では、設備や作業工程などを見学し、白色輪菊の周年栽培技術や安定経営が営まれている仕組みなどを学習した。</p> <p>午後は、“原尻の滝”の農産物販売所において、農産物・農産加工品のリサーチを実施。</p>
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、高軒高ハウスにより暖房費が節減される等の保温効果や、早朝電照を行うことにより開花時期の揃いが向上することなど、最先端の技術を目の当たりにして農業の奥深さを感じていた。 ・短日処理の説明など、多くの生徒が高い関心を示していた。 ・当該のクラスは農業に対する関心が強い生徒が多く、12月に行われた農業技術検定では40人全員が合格した。



三重総合高等学校久住校における関係機関との連携例

連携先： (株)くしふるの大地 取締役 加島 輝光 氏

日 時： 平成27年12月9日、12月16日

場 所： 三重総合高等学校久住校

概 要	<p>講義と実践指導（実技・プレゼン）</p> <p>第1回 絵を描くことの大切さ（2時間）</p> <p>第2回 店舗プランニング（4時間）</p>
内 容	<p>農業生産物を作るだけでなくその生産物を売るためには場所が必要であり販売技術やマーケティングに関する知識が必要となる。店を持って自分達の作った生産物を販売するためにはどのような店舗が必要になるか考える必要がある。そこで、農業経営に係わる多方面からの知識を学ぶために外部講師を招へいした。</p> <p>第1回目は、「自分達でデザインを考える必要がある。その前に、自分達で絵を描くこと」を学習。</p> <p>第2回目は、「どのような店舗を販売するため持ちたいか自分達で考えてそのプランを練りデザインを作りそして班ごとにプレゼンするまで」の学習。</p>
成 果	<p>日頃学んでいる農業を、デッサンの画法に関わる基本(直線、曲線の手法等)から学ぶなど、普段とは全く異なる切り口から学習することで、意欲を持って取り組むことができた。</p> <p>自分が考える店舗のデザインについて、グループ学習を通じての学び合いから班ごとの発表(プレゼン)までを学習し、様々なアイデアがあることや、実際に自身が販売する時のイメージを強く持つことができ、今後の農業経営に対する学習の意識を高めることができた。</p> <p>実際の現場で活躍している方から、多角的な経営の手法を学ぶことができ、将来の農業経営への意欲に繋がる端緒となった。</p>



玖珠美山高等学校における関係機関との連携例

連携先： イーグルファーム、農家レストラン「べべんこ」 鷲頭 将治氏

日 時： 平成27年 9月 14日(月) 14:10~16:00

場 所： 本校 会議室

対 象： 地域産業科1年 39名

概 要	<p>玖珠農業高校の卒業生であり、畜産、稲作、野菜、果樹等の栽培および農家レストラン「べべんこ」を運営している鷲頭将治氏を招き、農業の役割、可能性、仲間づくりについての講演および討論会を行った。</p>
内 容	<p>○1 時間目 講演 テーマ「食を担う」 (1) 食料(食材)作っている(食を担っている) (2) 環境を守る (3) 学びの場としての農業 高校時代の体験談や、今、取り組んでいる農業経営や農家レストラン「べべんこ」の話を交え、農業の役割、可能性を生徒に感動を与えながら話してくれた。</p> <p>○2 時間目 討論会 事前アンケート(自分の夢、将来の仕事、高校で頑張りたいこと等)を取り、それに基づいて討論を行った。高校時代の頑張りが、将来の夢の実現に繋がっていくことや、仲間づくりの重要性を熱く語ってくれた。生徒からの発言や質問も多くあり和やかな雰囲気で行われた。</p>
成 果	<p>○講師が卒業生であったこともあり、農業における起業の苦労や成功体験について語り合えたことで、農業経営に対する興味関心が高まり、将来の進路を考えるよい機会となった。</p> <p>○自身の農業経営に対する考え方や、畜産と農家レストランの経営における6次産業化の可能性について話を伺うことができ、生徒は農業に対して大きな夢を持って取り組める良い機会となった。</p> <p>○討論会を通じて、他者の考えに触れ、自分を見つめ直す機会となった。また、普段では聞くことができない、クラスメイトの農業に対する考え方を聞くことで、仲間づくりも進んだ。</p>



日田林工高等学校における関係機関との連携例

連携先： 森林ネットおおいた

日 時： 平成27年8月26日(水)～28日(金)

場 所： 大分県林業研修所

概 要	伐木等の業務に係る特別教育
内 容	<p>参加者：林業科2年生(36名)</p> <p>内容：1日目 高性能林業機械(グラップル・プロセッサ―・油圧ショベル)操作体験</p> <p>2日目 伐木等の業務に関する特別教育 関係法令・伐木作業に関する知識・チェーンソーに関する知識・振動障害およびその予防に関する知識</p> <p>3日目 チェーンソーの点検および整備 チェーンソーの操作 伐木実習</p>
成 果	<p>資格取得につながる研修となるため、生徒も熱心に取り組んだ。</p> <p>生徒全員が、実際に操作体験を実施したことで、伐木等の作業における高性能林業機械の作業効果を体験することができ、資格取得の重要性を学ぶことができた。</p> <p>生徒の感想から、林業関連への仕事に対する十分な興味づけになったことが伺えた。</p> <p>将来、関連の資格を活かせる仕事をしてみたいという意欲にもつながった。</p>



宇佐産業科学高等学校における関係機関との連携例

連携先： 宇佐産地域産業リーダー育成推進協議会

日 時： 平成27年6月24日(水) 平成27年11月20日(金)

場 所： 大分県立宇佐産業科学高等学校

概 要	<p>第1回協議会：委員の委嘱、設立目的・概要、計画等について協議</p> <p>第2回協議会：活動内容や成果及び今後の課題等について協議</p> <p>第3回協議会：年間活動の総括と次年度へ活動について協議（予定）</p>
内 容	<p>1 第1回協議会</p> <p>平成26年度に立ち上げた「宇佐産ビジネス人材育成推進協議会」をベースに農業関係者等を新たに加え、本協議会を立ち上げた。委員の委嘱や会の趣旨・目的、活動計画等について協議した。</p> <p>2 第2回協議会</p> <p>委員より生徒の受入や事業推進に関わる具体的な意見があった。その中から実現可能なものについて取り組むことにした。</p> <p>1) 株式会社櫛野農園におけるコショウ苗栽培(2000本)とユズ胡椒加工技術研修(グリーン環境科2年生2名、3日間就業体験)</p> <p>2) 新規就農希望者バスツアー参加(グリーン環境科2年生1名)</p> <p>3) ポニーの調教と削蹄(グリーン環境科3年8名)</p> <p>4) レイシ、イチゴ、モモの栽培研修(講義、現地視察)</p> <p>5) (株)大分県畜産公社視察研修</p>
成 果	<p>協議会の開催により、生徒の視察・就業体験研修の相談窓口や受入農家・企業が明確になった。また、行政機関との連携により新規就農に関わる情報も得やすくなった(例えば、行政の支援で1年生3名が宮崎県えびの市の畜産農家に宿泊実習することが実現した)。こうした取り組みにより、日常の専門学習や農業に対する進路意識の高揚を図ることが出来た。</p>

宮崎県えびの市の畜産農家に宿泊実習



大分県学校農業クラブ連盟における関係機関との連携例

事務局： 宇佐産業科学高等学校
 連携先： 有限会社音や、I V Y総合技術工学院、県内農業関係高校（9校）
 日時： 平成27年6月28日（日）
 場所： 大分市府内町1丁目5番38号 コンパルホール

概 要	平成27年度第58回九州学校農業クラブ連盟発表大会熊本大会出場者出場者、次年度以降の選手並びに指導者の技術の向上を目的にプロのアナウンサーに発表技術、I V Y総合技術工学院職員にプレゼンテーション技術の講義・指導を頂いた。
内 容	<p>午前：発声・話し方の指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意見発表・プロジェクト発表の代表選手がそれぞれ発表 2. 講師より発表者への指導内容 間の取り方、起承転結を明確にした表現、声の大きさ、イントネーション、 3. 発声練習指導 母音・子音の訓練。舌の動かし方、腹式呼吸を使った発声、「あいうえおのうた」で滑舌訓練 <p>午後：プレゼンテーションの作り方に関する指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発表者はそれぞれの発表を実施。各校がパソコン持参 2. プレゼンテーションの構成に関する指導 プレゼンテーションは見ている人が主役。見る人にわかりやすく、伝わるプレゼンテーションをすることが最重要である。見ている途中で画面が切り替わり、内容がわかりにくくなるプレゼンテーションにならないように画面のデータ量を工夫すること。使ってみたい機能、アニメーションをふんだんに使い、全体の一貫性がなくなるのは本末転倒である。自己中心的なスライドにならないためにも、複数の人に「わかりやすいか」チェックをしてもらうことが望ましいなど。
成 果	<p>細部にわたる指導をいただき、九州大会に向けた準備の参考になった。各指導事項は昨年の研修でも指摘された事柄が多く、複数回参加している学校は県大会においてもハイレベルな発表ができていた。</p> <p>九州大会では、プロジェクト発表区分環境で玖珠美山高等学校が最優秀を獲得 全国大会では、プロジェクト発表区分環境で玖珠美山高等学校が優秀を獲得</p>



3 高校から振興局に連携等を行う場合の方法について

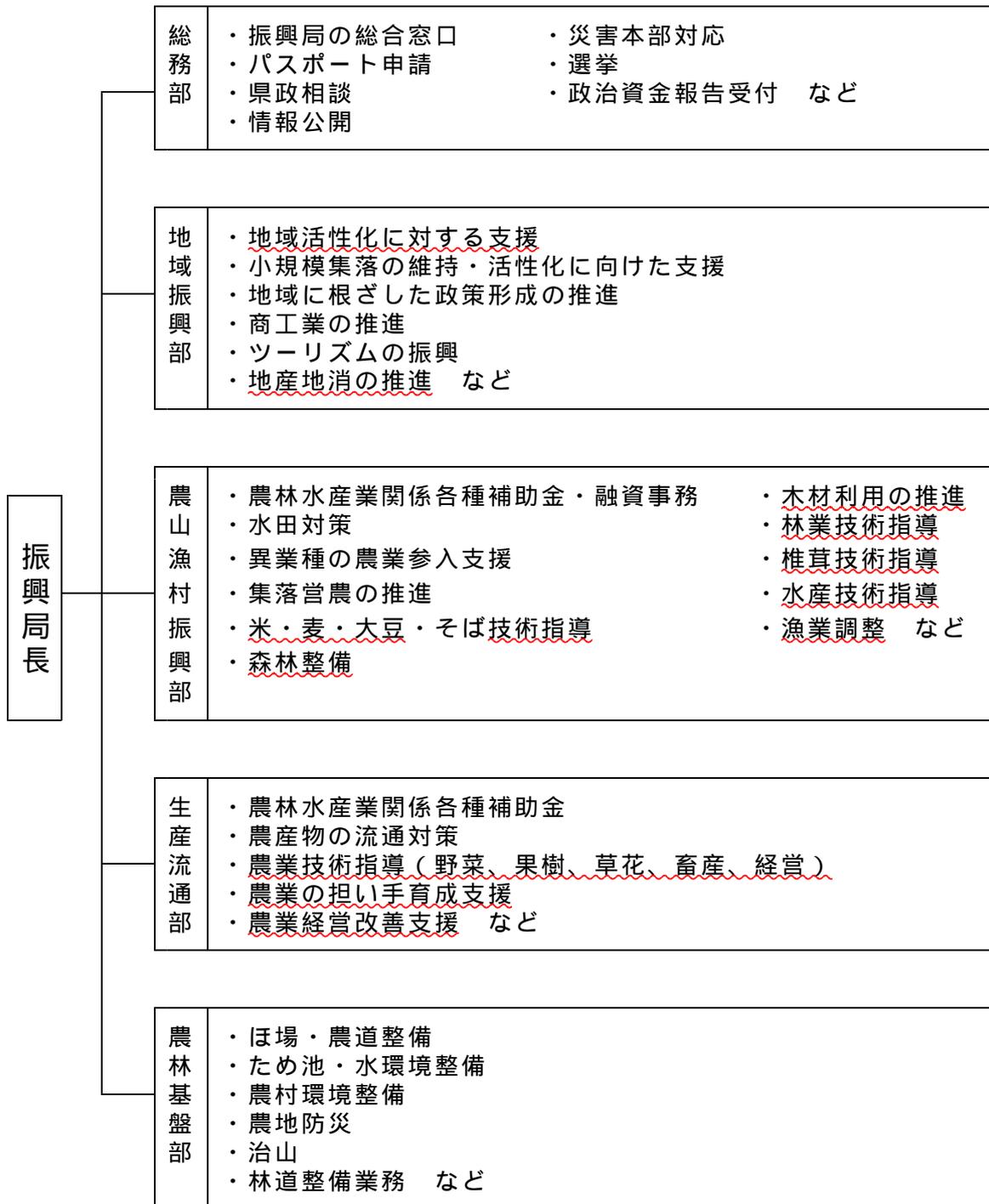
振興局 組織概要と主な業務（例） （北部振興局HP等 参考）

【振興局とは】

- ・大分県の地方機関として、県内6か所に設置されている。
- ・各地域における地域振興等に取り組んでいる。

【組織概要と主な業務】

図中のゴシック部分は、農林水産業系高校と連携が可能と思われる分野



振興局 農林水産業関係部署の業務内容（例）

	班	主な業務内容
地域振興部	地域振興班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>地域振興部 総合窓口</u> ・<u>地域活性化に対する支援</u> ・商工業の推進 ・ツーリズムの振興 ・<u>地産地消の推進</u>

	班	主な業務内容
農山漁村振興部	企画・農政班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>農産漁村振興部 総合窓口</u> ・農林水産業関係各種補助金・融資事務 ・水田対策 ・異業種の農業参入支援
	集落営農・水田班	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農の推進 ・<u>米・麦・大豆の技術、経営指導</u>
	森林管理班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>森林整備</u>
	林業・木材・椎茸班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>木材利用の推進</u> ・<u>林業の技術、経営指導</u> ・<u>椎茸の技術、経営指導</u>
	水産班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>水産の技術、経営指導</u> ・<u>漁業調整</u>

豊肥振興局・西部振興局では「農山村振興部」(漁村がないため)

	班	主な業務内容
生産流通部	企画・経営体班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>生産流通部 総合窓口</u> ・農林水産業関係各種補助金 ・農産物の流通対策 ・<u>農業の担い手育成支援</u>
	畜産班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>畜産の技術、経営指導</u>
	野菜班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>野菜の技術、経営指導</u>
	果樹・花き班	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>果樹・草花の技術、経営指導</u>

振興局の配置状況（平成28年度）



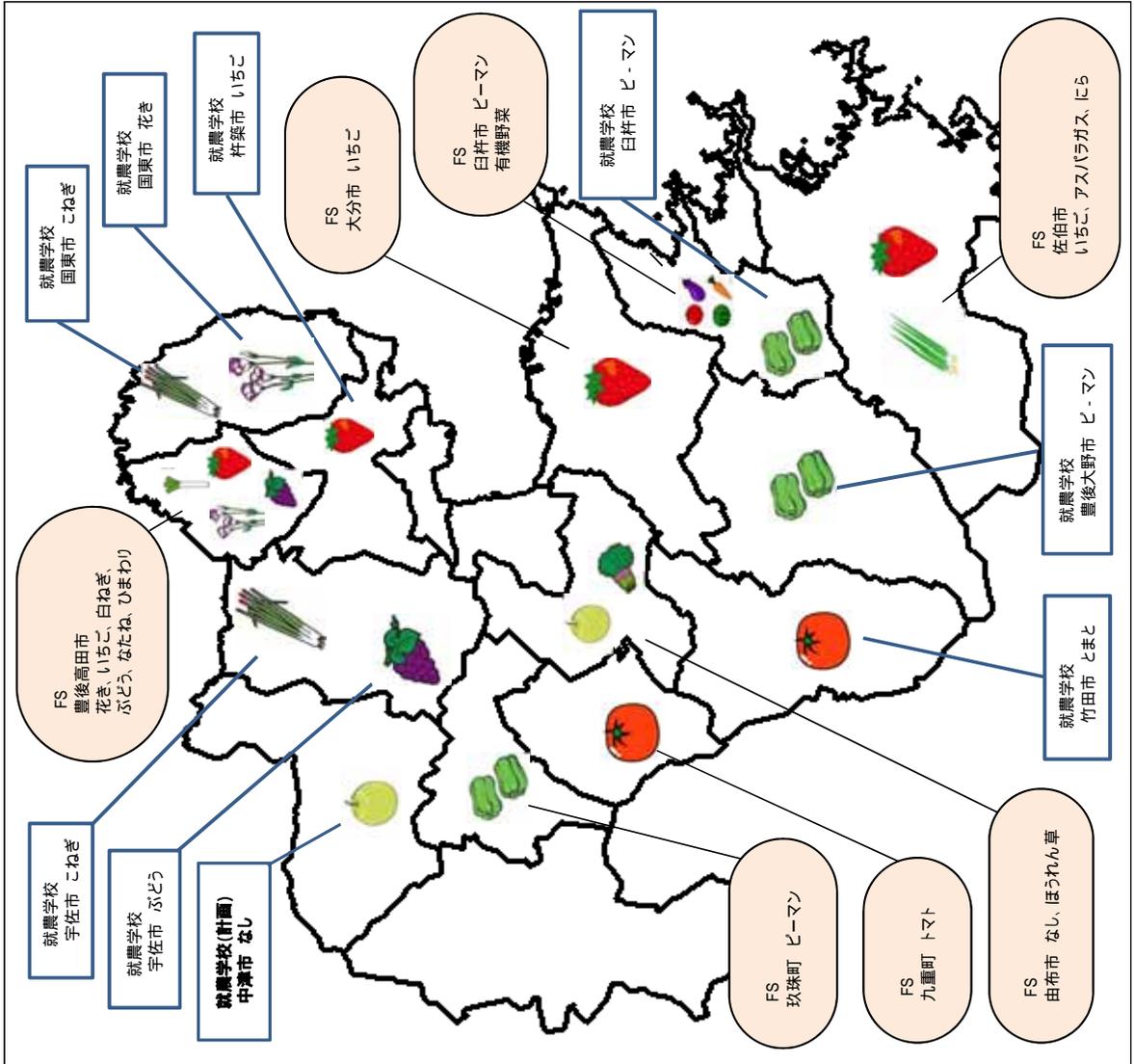
振興局 農林水産業関係窓口 電話番号一覧（平成28年度）

振興局	管内の高校	地域振興部	農山（漁）村振興部	生産流通部
東 部	国東 日出総合	地域振興班 0978-72-0857	農山漁村振興部 企画・農政班 0978-72-0409	企画・経営体班 0978-72-1141
中 部	大分東 海洋科学学校	地域振興班 097-506-5727	農山漁村振興部 企画・農政班 097-506-5732 水産班 097-506-5738	企画・経営体班 097-506-5796
南 部	佐伯豊南	地域振興班 0972-22-9073	農山漁村振興部 企画・農政・水田班 0972-24-8645	企画・経営体 ・畜産班 0972-22-1195
豊 肥	三重総合 久住校	地域振興班 0974-63-1291	農山村振興部 企画・農政班 0974-63-1172	企画・経営体班 0974-63-3177
西 部	玖珠美山 日田林工	地域振興班 0973-23-5739	農山村振興部 企画・農政班 林業・木材・椎茸班 森林管理班 0973-22-2585	企画・経営体班 0973-23-2217
北 部	宇佐産業 科学	地域振興班 0978-32-1373	農山漁村振興部 企画・農政班 0978-32-0622	企画・経営体班 0978-32-1555

大分県農林水産部
新規就業・経営体支援課

就農学校・ファーマーズスクールの設置状況

設置箇所



地域	品目	問い合わせ先
就農学校		
東部	こねぎ	県振興局生産流通部 ・東部振興局(別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町) ・中部振興局(大分市、臼杵市、津久見市、由布市)
東部	花き	・南部振興局(佐伯市)
東部	いちご	・豊後振興局(竹田市、豊後大野市)
中部	ピーマン	・西部振興局(日田市、九重町、玖珠町)
豊肥	ピーマン	・北部振興局(中津市、豊後高田市、宇佐市) 各市農政担当課
豊肥	トマト	「 就農学校 」とは？ 農業経験が無い人でも就農するために必要な技術や知識を身につけることが可能で、技術習得のための実習および座学、学んだことを自ら管理する圃場(農場)で実践する模擬実習で構成されています。
北部	こねぎ	地域の公的な関係機関が密接に連携して運営しています
北部	ぶどう	ので、市町が担当している空き家探しや農地探しに関する取り組みとの連携もスムーズに行えます。
北部	梨	
	7品目 9施設	
ファーマーズスクール		
東部	水耕ネギ等	県振興局生産流通部 ・東部振興局(別府市、杵築市、国東市、姫島村、日出町)
中部	いちご等	・中部振興局(大分市、臼杵市、津久見市、由布市)
中部	ピーマン等	・南部振興局(佐伯市)
中部	柑橘	・豊肥振興局(竹田市、豊後大野市)
中部	梨等	・西部振興局(日田市、九重町、玖珠町)
南部	いちご等	・北部振興局(中津市、豊後高田市、宇佐市)
豊肥	トマト等	各市農政担当課
西部	梨	「 ファーマーズスクール 」とは？ 「就農学校」と同様、農業経験が無い人でも就農するために必要な技術や知識を身につけることが可能で、技術習得のための実習および座学、学んだことを自ら管理する圃場(農場)で実践する模擬実習で構成されています。
西部	トマト	運営を市町が行いますので、市町が担当している空き家探しや農地探しに関する取り組みとの連携もスムーズに行えるといった特徴があります。
西部	ピーマン等	
北部	花き等	
	11市町	
ファーマーズスクール計		



詳しくは県庁ホームページをご覧ください。
アドレス <http://www.pref.oita.jp/site/shunjocho/nogyokenshu.html>

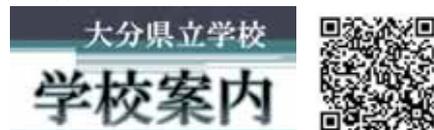
高校から振興局に連絡等を行う場合の方法

ケース	方 法
振興局との連携実績が少ない場合	
連携の依頼	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">校 長</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">振興局長</div> </div> <p style="text-align: center;">又は</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">副校長・教頭</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生産流通部 部長</div> </div> <p style="text-align: right;">林業：農山漁村振興部 部長</p>
インターンシップ・技術等の個別連携	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生産流通部 企画・経営体班総括</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">担当班 総括</div> </div> <p style="text-align: center;">担当班紹介</p> <p style="display: flex; justify-content: space-between;">相談 対応依頼</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 100%; text-align: center;">副校長・教頭</div> <p style="text-align: center;">直接相談</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">林業関係 農山漁村振興部企画・農政班総括</div>
組織的な連携会を行う場合	
連携の依頼	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">副校長・教頭</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生産流通部 企画・経営体班総括</div> </div> <p style="text-align: right;">林業：農山漁村振興部 企画・農政班総括</p>
日程や内容など具体的な調整	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">副校長・教頭 調整指示</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生産流通部 企画・経営体班総括</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">農 場 主 任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">林業：農山漁村振興部 企画・農政班総括</div> </div>
連携会を実施しているなど、振興局との連携が十分になされている場合	
課題研究などへのアドバイス	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">農 場 主 任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">各類型の班総括</div> </div>
インターンシップ先開拓、職員研修などの依頼	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">副校長・教頭 又は 農 場 主 任</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生産流通部 企画・経営体班総括</div> </div> <p style="text-align: right;">林業：農山漁村振興部 林業・木材・椎茸班 総括</p>
相談・問合せ先がよくわからない場合	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">副校長・教頭</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生産流通部 企画・経営体班総括</div> </div> <p style="text-align: center;">事前相談</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 100%; text-align: center;">農場主任 等</div>

[参考資料]

農林水産系学科設置校 学校案内

学校案内ホームページ



アドレス <http://kyouiku.oita-ed.jp/koukou/2015/11/post-136.html>



大分県立国東高等学校
校訓 鍛え磨く 探る 挑む

所在地 〒873-0503
大分県国東市国東町鶴川 1974 番地
電話番号 0978-72-1325
FAX 番号 0978-72-1324
U R L <http://kou.oita-ed.jp/kunisaki/>
交通機関 JR 杵築駅より大分交通バスで 40 分
国東行～国東高校前下車



1 設置学科・学年別学級数

	1 学年	2 学年	3 学年
普通科	3 学級	3 学級	3 学級
園芸ビジネス科	1 学級	1 学級	1 学級
電子工業科	1 学級	1 学級	
メカトロニクス科			1 学級
情報システム工学科			1 学級

2 全校生徒数

	男子	女子	合計
1 年	1 0 7	8 3	1 9 0
2 年	8 4	1 0 0	1 8 4
3 年	1 0 6	8 7	1 9 3
合計	2 9 7	2 7 0	5 6 7

3 学校の特徴

(1) 学校の歴史

平成 17 年 3 月 高校改革推進計画により、国東農工高、国東高、双国高を発展的に統合し、新設高校を国東農工高の校地に設置することを決定

平成 19 年 3 月 設置学科を、普通科 3 学級、園芸ビジネス科 1 学級、メカトロニクス科 1 学級、情報システム工学科 1 学級とする

平成 19 年 4 月 新設高校開校準備室設置

平成 19 年 10 月 大分県立国東高等学校を設置

平成 20 年 3 月 竣工式典を挙げる

平成 20 年 4 月 開校式、第 1 回入学式を挙げる

平成 24 年 10 月 創立 5 周年記念式典を挙げる

平成 26 年 4 月 電子工業科 1 学級を設置

(2) 教育目標

「鍛え磨く 探る 挑む」の校訓のもと、平和を愛し、人権を尊重する心豊かな、そして、実力と気品を兼ね備えた若者を育成する。

(3) 教育方針

幅広い教養と学力を身につけ「生きる力」をつける。
人権を尊重し、他者を思いやる心を身につける。
自らを鍛え磨き、探り何事にも挑む精神を育成する。

4 学校生活

(1) 学習活動

普通科【きめ細かく徹底した進学指導】

- 一人一人の学力向上と進学希望を達成するため、1 年次から応用クラスと標準クラスで編成し、2・3 年次では更にコース別に授業を行います。

専門科【専門性を高め、資格取得を推進する学習指導】

- 専門の基礎基本を大切にするとともに、高度な知識や技術を習得させ、スペシャリストとして活躍できる創造性豊かな人材を育成します。

(2) 部活動

体育部・・・野球・陸上・柔道・弓道・卓球・テニス・バレーボール(女子)・バスケットボール・サッカー・ウェイトリフティング

職業部・・・工業技術・情報処理・バイオ・鑑定

文化部・・・放送・文芸・将棋・茶華道・ESS
美術・書道・JRC・新聞同好会

(3) 卒業後の進路

【主な進学先】

東北大、筑波大、東京学芸大、京都大、岡山大、広島大、山口大、徳島大、愛媛大、高知大、九州大、九州工業大、佐賀大、長崎大、熊本大、大分大(医学科)、宮崎大、鹿児島大、琉球大、大分県立看護科学大、北九州市立大、明治大、中央大、東京理科大、日本体育大、日本女子大、立命館大、同志社大、京都女子大、西南学院大、岡山理科大、福岡大、中村学園大、日本文理大学、別府大、立命館アジア太平洋大、防衛大学校、等

【主な就職先】就職決定率 100%

(県外) 佐川急便(株)、JFE スチール(株)、住友ゴム工業(株)、ダイハツ工業(株)、デンソー、東京電力(株)、豊田自動織機、トヨタ自動車(株)、トヨタ自動車九州、日本特殊陶業(株)、マツダ(株)、三菱電機(株)等

(県内) 大分キャノン(株)、大分キャノンマテリアル(株)、大分航空ターミナル(株)、大分県農業組合、九州電力(株)、山九(株)、JX 日鉱日石金属(株)、佐賀製錬所、(株)ジェイデバイス、昭和電工(株)、新日鐵住金(株)、ダイハツ九州(株)、日鐵住金テックスエンジニア(株)、大分県警、国東市消防、国東市役所等



大分県立日出総合高等学校

校訓：向学・感謝・剛健

所在地 〒879-1504
大分県速見郡日出町大字大神1396-43
電話番号 (0977) 72-2855
FAX番号 (0977) 72-2655
URL <http://kou.oita-ed.jp/hijisogo/>
交通機関 JR日豊本線大神駅より徒歩8分



総合学科 2年次より4系列に分かれ、多くの選択科目の中から進路目標や興味関心に応じて自ら選択します。また、少人数による授業が展開されるので、きめ細やかな指導が可能です。

1. 設置学科・各学年別学級数

	1学年	2学年	3学年
農業経営科	1学級	1学級	1学級
機械電子科	1学級	1学級	1学級
総合学科	3学級	3学級	3学級

2. 全校生徒数

	男子	女子	合計
1年	126	73	199
2年	119	69	188
3年	108	67	175
計	353	209	562

3. 学校の特徴

(1) 本校のあゆみ

明治42年、日出町外4ヶ町村組合立女子実業補習学校として創立し、大正13年に県立日出高等女学校、昭和23年に県立日出高等学校と改称しました。また、平成9年に総合学科として現在の地へ移転、県立日出暘谷高等学校へ、平成25年には県立山香農業高等学校と発展的に統合し、2つの専門学科を加え総合選択制の日出総合高校へと生まれ変わりました。本年度で創立107年を迎える伝統と歴史のある学校です。

(2) 本校の教育目標

知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を実践し、一人一人の個性の伸長を図るとともに、豊かな人間性とグローバルな感覚を備え、国家や社会の発展に貢献する人材を育成する。

(3) 教育課程の特色や授業形態

農業経営科 園芸作物、きのこ栽培、食品製造などに関する科目を学習します。農業実習は山香農場(旧山香農業高校)へスクールバスで移動し、実習用の施設・設備を利用しながら学習を深めます。

機械電子科 機械や電気・電子に関する科目を学習します。専門的な知識や技術の修得と同時に、各種資格取得の取り組みをとおして実践的な技能も身につけます。

4. 学校生活

(1) 生徒会活動

生徒会活動では、生徒会長を中心に副会長、書記、各種委員長などにより各専門部が組織され、体育大会、文化祭、ボランティア活動やクラスマッチなど多くの学校行事を企画運営しています。

(2) 部活動

自転車競技、野球、男子新体操、サッカー、バスケットボール、テニス、柔道、弓道、陸上、女子バレーボール、女子ソフトボール、空手道、剣道、放送、音楽、美術、書道、家庭、農業、工業、商業、茶道、卓球などの部・同好会があり、高校総体など、体育・文化の両面で活躍しています。一昨年度末の全国選抜大会には、自転車競技部と新体操部が出場し、自転車競技部は全国制覇を成し遂げました。(全国総体・全国選抜にて過去8回全国優勝。多くのプロ選手を輩出しています。)

(3) 学校行事

1学期は歓迎遠足、教育合宿、生徒総会、生徒会リーダー研修会など。2学期は体育大会、暘谷祭(文化祭)、ボランティア活動、ウォークラリーなど。3学期は百人一首大会、学修成果発表大会などを催します。また、各学期末には全校でクラスマッチを行います。

(4) 卒業後の進路

これまで就職では新日鉄住金、大分キャノン、大分キャノンマテリアル、二階堂酒造など、地元企業を中心に広範囲にわたっており、昨年も就職希望者の全員(100%)が企業へ就職しています。進学では大分大学、鹿屋体育大学、中央大学、法政大学、立命館アジア太平洋大学、福岡大学、日本大学等の四年制大学や各短期大学、各専門学校などに進学しています。



大分県立大分東高等学校

校訓

自律・努力・友愛

所在地 〒870-0313

大分県大分市大字屋山2009番地

電話番号 (097)592-1064

FAX番号 (097)592-1438

URL <http://kou.oita-ed.jp/oitahigasi/>

交通機関 JR坂ノ市駅～本校(大分バス)

大分駅～明野経由～本校(大分バス)



1. 設置学科 各学年別学級数

	1学年	2学年	3学年
園芸ビジネス科	1学級	1学級	1学級
園芸デザイン科	1学級	1学級	1学級
普通科	3学級	3学級	3学級

2. 全校生徒数(各学年別)

	男子	女子	合計
1年	96	102	198
2年	88	95	183
3年	81	99	180
合計	265	296	561

3. 学校の特徴

(1) 本校のあゆみ

大正9(1920)年に前身校が設立され、昭和39(1964)年に現在の校名となりました。昭和54(1979)年に、日吉原から緑豊かな屋山の高台に移転し、現在に至っています。広大な敷地に2面のグラウンド、集会場、ホール・CAI教室・4つのセミナールームを備えた国際棟など、充実した施設設備を備えており、申し分のない学習環境にあります。また、平成25年度から園芸デザイン科および園芸ビジネス科がそれぞれ1クラス設置され、農業棟をはじめとした実習設備が新設されました。

(2) 大分東高校グラウンドデザイン

「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、社会に貢献できる人材の育成」を目指しています。

特色ある取り組みとして、ノーチャイム、1分間呼吸法、朝読書、Me(毎月考査)などを行っています。

(3) 教育課程の特色

本校は、総合選択制高校として3年目となりました。多様化した進路希望に応じた科目選択をすることにより、学習の理解度をより深めることができます。また、他学科の学習内容を学ぶことでより広い知識や技術を習得することができます。

普通科は、1年次はA・Bの2類型、2・3年次は文A・B、理Bの3類型となります。進学から就職まで幅広い進路目標に対応できるきめ細かなコースを設置して、生徒一人一人の学力や進路に対応した学習指導を行っています。また、将来を見通したインターンシップも実施しています。

平成25年度に新設された農業系学科は、専門学習を通して自己の可能性を伸ばし、自らの進路を切り拓く力を培う教育を行います。園芸デザイン科は、花の栽培やバイオテクノロジー、フラワーデザインなどに関する学習を行います。園芸ビジネス科では、野菜栽培やパン、ジャム等の加工品の製造などに関する学習を行います。

4. 学校生活

(1) 特別活動

ボランティア活動に、専門委員会として組織的・継続的に取り組んでいます。募金活動への参加や、地域との連携による除草作業・花壇の整備、老人介護施設訪問などに多くの生徒が参加しています。

(2) 部活動

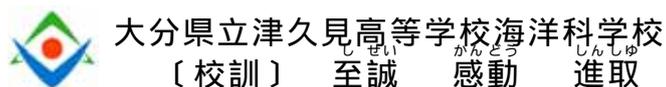
体育系(12)、文化系(7)、同好会(4)があります。中でも女子ハンドボール部、女子ソフトボール部はかつて全国制覇を成し遂げたこともあります。平成26年度全国高校選抜大会に、男女ソフトボール部はそろって県1位で出場しました。

(3) 学校行事

1年東魂プロジェクト(4月集団訓練・教育合宿)、春の歓迎遠足、夏季補習、東輝祭(9月文化祭・体育祭)、雅祭(1月百人一首大会)、強歩大会、小論文コンクールなどが特徴的です。いずれの企画も生徒一人一人が積極的に参加し学校生活を充実するよう工夫されています。

(4) 卒業後の進路

昨年度までは、就職する生徒は3割程度、大学・短大・専門学校などに進学する生徒は7割程度でした。



大分県立津久見高等学校海洋科学学校

〔校訓〕 至誠 感動 進取

所在地 〒875-0011
大分県臼杵市大字諏訪254-1-2
電話番号 (0972)63-3678
FAX番号 (0972)63-3679
U R L <http://kou.oita-ed.jp/kaiyoukagaku/>
交通機関 J R 熊崎駅より約 3 k m
J R 臼杵駅より約 4 k m

1. 設置学科・学年別学級数

科	海 洋 科			専攻科海洋科	
学 年	1 学年	2 学年	3 学年	1 学年	2 学年
学級数	1 学級	1 学級	1 学級	1 学級	1 学級
対 象	中学卒業			水産系高校卒業	

2. 全校生徒数 (4月10日現在)

科	海 洋 科			専攻科海洋科		合計
学 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年	
男 子	29	24	33	9	5	100
女 子	0	10	5	0	0	15
合 計	29	34	38	9	5	115

3. 学校の特徴

(1)学校づくりのキーワード

「信頼」と「チームワーク」

(2)教育目標

知的好奇心と活力をもって個性を發揮し、自ら人生を切り拓くたくましい人間を育成する。

水産・海洋教育の充実を図り、豊かな人間性・確かな学力・高い専門性を習得し、水産・海洋関連を中心とした産業社会を担う人材を育成する。

(重点目標)

生徒の生活リズムを見直し、実態に即した授業内容及び指導方法を検討・改善することで、個に応じたきめ細かい指導等を徹底し、基礎・基本の定着ならびに学力の向上を図り、第一希望先の進路達成を目指す。

実習船教育の意義を活用し、端正な頭髪・服装、挨拶、時間厳守などの望ましい態度教育を徹底すると同時に、健康・安全に配慮しつつ自らの生命を守る生活習慣を身につけさせる。

水産・海洋関連産業との連携事業や生徒会活動・ボランティア活動・部活動などを通して社会性やコミュニケーション能力を高める。



(写真上:H27/6/26マリノック、写真下:H26/9/3第二次出港式)

4. 学校生活

(1)学習活動

県下唯一の水産・海洋系学科を有する高校。魚を獲り、育て、より美味しく加工し、それらを販売する仕事に従事する人、船舶関係等の仕事をする人を育てる。

本校では1年次に水産・海洋全般についての基礎的な内容を学習し、2年次からは、専門的な知識・技術を修得するために次の2つのコースに分かれている。

生産技術コース 水産資源の管理、増養殖や水産物の生産・加工・流通に関する知識・技術を習得させ、水産業に従事する人材を育成する。

船舶技術コース 船舶の運航に関する知識・技術を習得し、内航海運業・船舶関連産業に従事する人材を育成する。上級海技士免許取得(三級以上)を目指す者は、本科卒業後に専攻科へ進学(入試有)することにより可能となる。

(2)取得可能な資格等

五級海技士(航海・機関)、小型船舶操縦士、各種特殊無線技士、危険物取扱者、ボイラー取扱者、アーク溶接技士、潜水土、冷凍機械責任者、HACCP基本技能検定等

(3)卒業後の進路

・就職...水産庁等の官庁船やフェリー、海運会社等の民間船舶職員、漁業や水産養殖業、食品製造業等

平成26年度就職率100%

・進学...本校専攻科、大学水産学部、水産系短期大学校、専門学校等

進学希望者に対して個人指導実施



大分県立 佐伯豊南高等学校

校訓 真・凜・美

所在地 〒876-0012

大分県佐伯市大字鶴望 2851 番地の 1

電話番号 (0972)22-2361

FAX 番号 (0972)22-2362

U R L <http://kou.oita-ed.jp/saikihounan1/>

交通機関 JR 佐伯駅より 3.2 km, 上岡駅より 2.5 km

大分バス大手前バス停から 2.0 km

1 設置学科 学級数

	1 学年	2 学年	3 学年
食農ビジネス科	1 学級	1 学級	
工業技術科	1 学級	1 学級	
福祉科	1 学級	1 学級	
総合学科	3 学級	3 学級	

2 全校生徒数(2015.4.9 現在)

学年	男子	女子	合計
1 年	120	111	231
2 年	93	136	229
合計	213	247	460

3 学校の特徴

学校の歴史

平成 26 年 4 月、佐伯豊南高校と佐伯鶴岡高校を発展的に統合し、大分県立佐伯豊南高等学校設立。

食農ビジネス科・工業技術科・福祉科・総合学科の 4 学科を併設。

教育目標

1. 知性、感性、規範意識を磨き、豊かな心を涵養。
2. 一人ひとりの生徒を大切に、きめ細かな指導を行い、進路希望を実現。
3. 今を懸命に生き、将来を逞しく生き抜く人間の育成。

教育課程の特色および授業形態

総合学科

人文・自然科学系列

大学や看護系の上級学校への進学に必要な学力を身につけます。

情報メディア系列

情報処理に関する科目を中心に学習し、ビジネスの諸活動における能力や態度を身につけます。



経営ビジネス系列

流通や会計に関する科目を中心に学習し、ビジネスの諸活動における能力や態度を身につけます。

生活創造系列

家庭に関する科目を中心に学習し、人間の生活を支える基礎的・基本的な知識や技術を身につけます。

食農ビジネス科

生産・加工・流通・消費の学習と「6次産業化」に対応できる知識・技能及び経営感覚を身につけます。

工業技術科

ものづくりに必要な設計・加工・組立・制御を学習し、知識・技術及び実践的な態度を身につけます。

福祉科

社会福祉のスペシャリストとして知識・技術と心豊かな人間性を身につけ、介護福祉士国家資格取得を目指します。

4 学校生活

特別活動 部活動では、多くの生徒が部活動に所属して放課後を中心に活動しています。

<運動部> レスリング、硬式野球、ソフトボール、陸上競技、ソフトテニス、サッカー、バレー、バスケット、バドミントン、弓道、剣道、卓球、相撲

<文化部> 農業、工業、茶道、美術、吹奏楽、レオクラブ、書道、家庭、放送、情報処理簿記、文芸

年間の主な行事

- 1 学期 歓迎遠足、1 年集団宿泊研修、クラスマッチ
- 2 学期 体育大会・文化祭クラスマッチ 強歩大会
- 3 学期 総合学科実践研究発表会、クラスマッチ



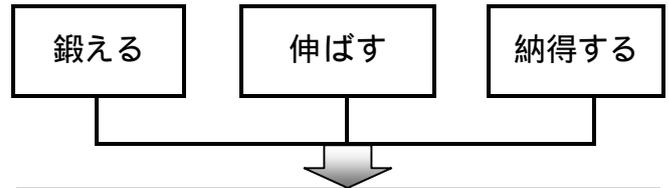
大分県立三重総合高等学校

希望 誇り 克己

所在地 〒879-7141
 豊後大野市三重町秋葉 1010 番地
 電話番号 0974-22-5500
 FAX 番号 0974-22-4669
 URL kou.oita-ed.jp/miesogo/
 E-mail a32670@oen.ed.jp
 交通機関 JR 三重町駅から徒歩 20 分



三重総合のキーワード



- ・受験学力を身に付ける授業やセミナー
- ・資格・検定対策のためのセミナー
- ・強い体力とあきらめない精神力を培う学校行事
- ・学力、資格などを数値ではっきり表現する指導
- ・努力の成果がはっきり見える指導
- ・一人ひとりが認められ、期待を実感できる指導
- ・今の努力が将来につながる実感を持てる指導

三重総合はここを大切にします！

こんなオトナになって欲しいと願っています。
 まわりの人から信頼される人
 健康にいきいきと生活できる人
 知識を持ち、目標に向かってがんばる人

そのために

- 勉強に真剣にがんばる
- 部活動に真剣にがんばる
- 礼儀をしっかり身に付ける

1 設置学科

	1 学年	2 学年	3 学年
普通科 (文理クラス)	1 学級	1 学級	1 学級
普通科 (総合進学クラス)	1 学級	1 学級	1 学級
生物環境科	1 学級	1 学級	1 学級
メディア科学科	1 学級	1 学級	1 学級

2 全校生徒数

	男子	女子	合計
1 年(10期生)	5 9	8 0	1 3 9
2 年(9期生)	7 3	8 6	1 5 9
3 年(8期生)	6 5	7 9	1 4 4
合計	1 9 7	2 4 5	4 4 2

3 学校の特徴

総合選択制で君の夢を実現しよう！

ここにはいろんな夢がある

- 県下初の総合選択制 -

希望に応じた科目を自由に選択できます

例えば・・・

大学進学をめざす人は

入試科目を集中して選択、学力向上
 (探究英語、現代文研究、探究数学 など)

資格取得をめざす人は

資格がとれる科目を選択、上級資格にも挑戦
 (簿記、財務会計、ネットワークシステムなど)

様々なことに興味がある人は

学科を超えて科目を選択、資格にも挑戦
 (食文化、ビジネス基礎、生活と福祉など)

夢実現を ガッチリ サポート！

ヤル気あふれる君を待っている！

本校は、普通科、農業系の生物環境科、商業系のメディア科学科からなる総合選択制の学校です。進学から就職まで、生徒の幅広い進路希望に対応しています。

大阪大学や神戸大学・九州大学等の難関校にも合格実績を持つ普通科、九州全域で大ヒットした「甘太くんパン」の開発や充実した資格取得指導を行う商業系各学科、農業クラブ研究大会意見発表で最優秀賞受賞者を輩出した生物環境科など、生徒の夢実現のため学校全体で努力しています。あなたも、ぜひ三重総合高校で勉強してみませんか。



大分県立三重総合高等学校久住校

校訓 希望・誇り・克己

所在地 〒878-0204 竹田市久住町栢木 5801-32
 電話番号 0974-77-2200 FAX 番号 0974-77-2272
 URL <http://kou.oita-ed.jp/miesogokujyuu/>
 交通機関 竹田交通 竹田～久住～直入支所線
 都野高校前バス停 徒歩1分

1. 設置学科・各学年別学級数

1 学年 2 学年 3 学年
 農業科 1 学級 1 学級 1 学級

2. 全校生徒数

	男子	女子	合計	寮 生 数 計	男子寮	女子寮
1年	25	5	30		13	1
2年	14	12	26		8	7
3年	16	6	22		5	1
合計	55	23	78		35	9

3. 学校の特徴

(1) 本校のあゆみ

昭23年7月 大分県立竹田高等学校定時制都野分校
 昭36年4月 大分県立竹田高等学校久住分校
 昭45年4月 大分県立三重農業高等学校久住分校
 平18年4月 大分県立三重総合高等学校久住分校を併設
 平20年4月 大分県立三重総合高等学校久住校

(2) キャッチフレーズ

『小さな学校の大きな希望』

久住校にある内外環境を最大限に活用して、生徒を最大限に磨きあげます！

(3) 教育目標

農業教育を推進し、優しさとかまじさを培い、地域農業の発展と地域環境の保全に貢献するリーダーを目指して力強く生き抜く若者を育成する。

(4) めざす生徒像

自ら学び、課題解決能力を身につけ、社会の変化に応じて自らの判断で行動できる生徒
 夢や目標を見つけ、それに向かって自ら能力や適性を伸ばし挑戦し続ける生徒
 豊かな人間性と自然を愛する心を持ち、自律した社会人として活躍できる生徒

(5) 教育課程

専門科目では農業科目を中心に学習しますが、「生活と福祉」「フードデザイン」などの家庭科目も選択履修できます。また、学校設定科目の中で「竹田くじゅう学」などの地元学・環境教育にも取り組んでいます。

(6) 学校の特徴

魅力ある学校作りを目指した産官学連携事業の取り組み「新生・久住校の新たな挑戦」として次の4つの項目を中心に取り組んでいます。

高大連携の構築（宮崎大学農学部等との連携）
うし部の活性化として外部講師による招聘授業と講義の強化
久住地域の特産作物栽培等の特化
将来の産業人育成のための大分県立農業大学校との連携強化



4. 学校生活

(1) 学習活動

普通科目（48単位）と専門科目（41単位）のほかに、総合的な学習の時間（1単位）などを3年間で学習します。

専門科目には、「作物」「野菜」「草花」「畜産」などの農業科目と「子どもの発達と保育」「フードデザイン」「生活と福祉」などの家庭科目があります。「数学」「英語」では、習熟度別授業を実施。

(2) 特別活動

入山公墓清掃ボランティア（5月）生徒会奉仕活動の大船山清掃登山（6月）や黒岳清掃登山（10月）は60年以上続けています。

地域清掃活動（公園・神社・国道沿の清掃活動）や家庭クラブの老人ホーム訪問も30年以上実施。

(3) 部活動

軟式野球部、うし部、農業鑑定部、農業愛好会、JAMCLUBがあります。農業鑑定部は、毎年全国大会に出場し、優秀な成績を残しています。

(4) 学校行事

体育大会や学園祭、大船山・黒岳の清掃登山などの奉仕活動のほか、多くの学校行事があります。

3月の野焼き体験実習は久住校ならではの行事です。

(5) 卒業後の進路

主な進学先
 大分県立農業大学校、大分県畜産研修センター、別府大学、別府溝部学園短期大学、各種専門学校 等
 主な就職先
 株式会社レゾネイト、大久保病院、九州ジージーシー、コスモス薬品、佐川急便株式会社、福祉工場松岡、別府中央病院、パルクラブ、農業法人等



大分県立玖珠美山高等学校

校訓 **自立・創造・協同**

所在地 〒879-4403 玖珠郡玖珠町帆足 160
 電話番号 (0973)72-1148
 FAX 番号 (0973)72-1149
 U R L <http://kou.oita-ed.jp/kusumiyama/>
 交通機関 JR久大線豊後森駅から徒歩 5 分



設置学科・各学年別学級数(平成 27 年度)

	1 学年	2 学年	3 学年
普通科	3 学級	3 学級	3 学級
地域産業科	1 学級	1 学級	-
生物生産科	-	-	1 学級
食品化学科	-	-	1 学級

全校生徒数(平成 27 年度)

	1 学年	2 学年	3 学年	合計
普通科	84	87	114	285
地域産業科	39	32	-	71
生物生産科	-	-	11	11
食品化学科	-	-	21	21
合計	123	119	146	388

スローガン

Change Chance Challenge!
変化を機会に そして挑戦へ!

学校教育目標(目指す学校像)

「自立・創造・協同」の校訓のもと、多様で変化の激しい社会において、逞しく生き抜き、社会をリードする生徒を育成し、「地域の学校」として、学校の存在、生徒の存在が地域の活力の源となるよう、地域に根ざし、地域に愛され、地域と共に成長する学校を目指す。

育成する生徒像

校訓の 3 つの力を身につけ、素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち、自ら考え、自ら行動することで、地域を活性化し、社会に貢献する生徒を育成する。

特色ある教育活動

○総合選択制科目の設置

学習内容の一部について、他の学科の学習内容も選択できる制度がある。

校訓の意味

「自立」

自ら学び、考え、判断し、常に前進する力

「創造」

自分と社会の幸せのために新しいものを生み出す力

「協同」

自ら人と協力し、お互いの心を合わせチームで働く力

学科紹介(平成 28 年度入学生)

普通科

大学進学を中心とした幅広い進路希望に対応するため進路目標に応じたコースを設置し、基礎学力の定着を図り、知識を活用する取組を通して問題解決能力を身につけた人材を育成します。

地域産業科

農業の基礎的学習を基に、野菜、畜産、食品製造の専門的知識と技術力を習得し、経営や流通の専門学習や総合選択制による、商業、情報等の幅広い学習を通して地域産業に貢献する人材を育成します。

目指す進路

普通科

○進路希望に応じた文系・理系の類型、個に応じた指導により、第一志望の国公立大学、私立大学、短期大学、専門学校等への進学
 ○公務員、一般企業への就職

地域産業科

○農業学習と生産・加工・流通・消費に関する知識・技能・経営感覚を生かした農業の自営、農業専門職、農業関連産業への就職
 ○農業分野の専門的学習を生かした国公立農業系大学、農業大学校、短大等への進学



大分県立日田林工高等学校

校訓 勤勉・創造・敬愛

所在地 〒877-0083 大分県日田市吹上町 30

電話番号 0973 (22)-5171 FAX 番号 0973 (22)-5173

U R L <http://kou.oita-ed.jp/hitarinkou/>

交通機関 JR久大線日田駅よりバス約 10 分

1. 設置学科 各学年別学級数

		1 学年	2 学年	3 学年
【農業系】	林業科	1 学級	1 学級	1 学級
【工業系】	機械科	1 学級	1 学級	1 学級
	電気科	1 学級	1 学級	1 学級
	建築土木科	1 学級	1 学級	1 学級

2. 全校生徒数 (各学年別)

	男子	女子	合計
1 年	1 3 1	1 8	1 4 9
2 年	1 3 8	1 7	1 5 5
3 年	1 4 0	1 7	1 5 7
合計	4 0 9	5 2	4 6 1

3. 学校の特色

『エコ社会に生かすものづくり
匠の技の習得に挑戦する日田林工』

1901(明治 34)年に創立され 114 年の歴史と伝統をもつ農・工併設(農業系学科 1 学科、工業系学科 3 学科)の学校です。卒業生は今春で 23,300 人を数え、地元産業界をはじめ全国で幅広く活躍しています。

< 学校教育目標と重点目標 >

民主的な国家・社会の有為な形成者として、自他を敬愛し、勤勉さ、創造性に富み、心身ともに健全な将来のスペシャリストを育成する。

1. 授業改善による基礎学力の定着と規律ある生活習慣の確立により希望進路の達成を図る。
2. 体験学習を重視し「1・1」の精神で、ものづくりや資格取得に挑戦させ、専門性を高める。
3. 人権を尊重する態度を育成し、特別活動を通して調和のとれた人格形成を図る。

< 実験・実習が特色です >

教室では基礎・基本的知識を学び、実習棟では毎週体験を主とした実習が行われます。小班に分かれ実践的な技能・技術の習得に取り組み、さらに資格取得にもつなげています。各科独立した実習棟には最



新設備や実験装置を備え県内屈指の専門高校として産業界の第一線で活躍する技術者が巣立っています。

また、林業科では 77ha を有する三花演習林での 2 泊 3 日の宿泊実習を在学中に 4 回行っています。

4. 学校生活

< 特別活動 >

体育部(14)

【野球・ソフトテニス・陸上競技・サッカー・柔道・剣道・卓球・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・相撲・ソフトボール・弓道・フェンシング同好会】

文化部(7)

【吹奏楽・美術・放送・囲碁・JRC・家庭クラブ・英会話クラブ】

ものづくりや各種大会へ挑戦する専門部(5)

【林業・機械・電気・建築・土木各クラブ】
活躍の場が一層広がります。

< 学校行事 >

学科対抗の伝統の体育大会(10月)、学科やクラスの特徴を活かした月隈祭(11月)、また、毎月 15 日を『人権の日』に定め、人権教育を推進しています。

< 卒業後の進路 >

毎年就職内定率 100% を達成しています。また、国立大学への進学希望者や公務員希望者には個別指導や特別補習を徹底して行っています。

中学生の皆さんへ

高校選択で重要なことは、将来を見据え就職力や進学力がどのように身につけられるかです。活気あふれる高校生活で自分の可能性を引き出し確かな基礎づくりをしましょう。また、就職を希望した全員が就職できることも重要です。充実した教育環境や最新設備を活用し生活を支える技術や資格を習得できる地域に愛されている『林工(りんこう)』は皆さんの期待に十分応えられる専門高校です。



大分県立

宇佐産業科学高等学校

校訓：誠実・勤勉・奉仕



所在地	〒 879-0471	大分県宇佐市四日市 2 9 2 番地
電話番号	0978-32-0044	
FAX 番号	0978-32-0624	
URL	http://kou.oita-ed.jp/usasangyokagaku/	
交通機関	大分交通バス勤務青少年ホーム下車 徒歩 1分	

1. 設置学科 各学年別学級数

	1 学年	2 学年	3 学年
グリーン環境科	1 学級	1 学級	1 学級
ビジネス管理科	1 学級	1 学級	1 学級
電子機械科	1 学級	1 学級	1 学級
生活デザイン科	1 学級	1 学級	1 学級

2. 全校生徒数 (各学年別)

	男子	女子	合計
1 年	8 5	7 2	1 5 7
2 年	7 8	5 7	1 3 5
3 年	8 5	4 9	1 3 4
合計	2 4 8	1 7 8	4 2 6

3. 学校の特徴

(1) 学校の歴史

明治34年5月3日、宇佐郡立農学校として創立され、その後幾多の変遷を経て平成5年より電子機械科を設置し、大分県立宇佐産業科学高等学校と改称しました。平成13年度より生活デザイン科が設置されました。平成20年度から農業経営科と農業土木科を統合したグリーン環境科への改編、そしてビジネス管理科の新設により農業・工業・商業・家庭科を有する県下唯一の専門4学科の総合選択制高校となりました。本年度創立113周年の伝統誇る学校です。

(2) キャッチフレーズ

「夢を拓く学校、夢が叶う学校」

(3) 教育方針

基本的な生活習慣の確立

基礎学力の充実

進路達成への取り組みと充実

学校行事・部活動の活性化

4. 学校活動

(1) 学習活動

実験・実習を取り入れた学習

農業科・工業科・商業科・家庭科で学習する専門教科の知識や技術を確実に身に付けるために、専門科目に関する授業の半分は実験・実習を行います。

充実したインターンシップの実施

2年次に3～5日間、各学科の専門性を重視した企業・農家・介護を行う職場で体験実習を行い、働くことの意義や特に自分の将来について考えます

選択科目の増設

2、3年次では、自分の興味・関心、希望進路等に応じた選択科目の授業が受けられるようにしています。

(2) 特別活動

農業・工業・商業・家庭の各クラブ活動は、それぞれの専門学習を深めるためにテーマを定めて研究し、その成果や技術を発表します。県大会、全国大会もあり、本校は毎年優秀な成績を納めています。

(3) 部活動

体育関係では、陸上、卓球、相撲、硬式野球、弓道、テニス、バスケットボールの各部があり、過去、相撲部・弓道部は、インターハイ、国体等に出場し好成績を残しています。さらに、相撲部においては、2名の大相撲の三役力士を輩出しています。文化関係では、新聞、書道、放送、JRC、メカトロ、OA、農業クラブ、茶道の各部があり、また人権問題研究会、美術の各同好会も活動しています。

(4) 昨年度の実績

本校では、部活動、各学科で昨年度は下記の成績をおさめました。

陸上部：県総体女子混成7種6位

弓道部：新人戦団体3位(九州大会出場)

新人戦個人男子2位(九州大会出場)

相撲部：県総体個人100kg以上級1位、2位

80kg未満級3位(九州大会出場)

農業クラブ：県大会プロジェクト発表最優秀

県大会意見発表優秀(九州大会出場)

家庭クラブ：わが町わが駅お弁当コンテスト最優秀

(5) 卒業後の進路

就職をする生徒が9割程度、進学をする生徒が3割くらいです。就職は、各学科の専門性を生かし、毎年ほとんどの進路が決定しています。就職先の地区内訳は、地元が9割以上を占め、県外は1割程度です。また、進学の内訳は、4年制大学・短期大学が3割、各種専修学校が7割の比率になっています。

平成 2 8 年度「大分スーパーサイエンスコンソーシアム」開始式について

- 1 目的 大分県の高校生の理数教育への興味・関心を喚起し、「大分県からノーベル賞科学者を！」の合い言葉のもと、高い志をもった科学系人材を育成するため平成 2 2 年度に「大分スーパーサイエンスコンソーシアム」を設立した。これまでの成果を活かし、より充実した企画が実施できるよう、生徒・教員・研究者を始めとした関係者が一同に集う平成 2 8 年度開始式を行う。
- 2 日時 平成 2 8 年 5 月 1 4 日 (土) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 1 0
- 3 場所 大分県教育センター 〒870-1124 大分県大分市旦野原 8 4 7 - 2 TEL:097-569-0118
- 4 参加者

来 賓	大学・企業・県関係，運営指導委員，教育委員会関係など 2 0 名		
関係校	大分舞鶴高校	管理職 + 教諭 1 8 名	生徒 2 0 名
	大分上野丘高校	管理職 + 教諭 8 名	生徒 2 0 名
	大分豊府高校	管理職 + 教諭 8 名	生徒 2 0 名
	日田高校	管理職 + 教諭 1 名	生徒 1 0 名
	中津南高校，宇佐高校，安心院高校，杵築高校，竹田高校，臼杵高校，佐伯鶴城高校，別府鶴見丘高校，大分南高校，大分西高校，大分鶴崎高校，大分雄城台高校，国東高校，中津北高校，高田高校，日出総合高校，大分東高校，由布高校，津久見高校，三重総合高校，別府翔青高校，玖珠美山高校		
	生徒 + 管理職，引率教員 約 1 5 6 名		

(参加生徒 2 6 校 計 2 0 2 名 予定)
 昨年度の参加生徒 1 9 校 計 1 6 5 名

5 日程

時 間	内 容
1 3 : 3 0 ~ 1 5 : 0 0	科学特別講演会 演題 『 不可能立体の不条理の世界 ~ 脳はなぜだまされるのでしょうか ~ 』 講演者 明治大学 先端数理科学イニシアティブ 特任教授 杉原 厚吉 先生
1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 1 0	休 憩
1 5 : 1 0 ~ 1 6 : 1 0	開始式 <ul style="list-style-type: none"> ・ 開式のことば ・ 生徒代表挨拶 ・ 事務局校校長あいさつ 大分舞鶴高校校長 ・ 教育委員会あいさつ ・ 来賓あいさつ ・ 参加校紹介 ・ 平成 2 7 年度の取組概要紹介 ・ 平成 2 8 年度の企画内容説明 ・ O S S フェスタについて ・ 科学の甲子園出場報告 ・ 閉式のことば

平成27年度 大分スーパーサイエンスコンソーシアム概念図

大分県からノーベル賞科学者を！

感動・挑戦の心をもつ科学技術のリーダーの育成

「OSSコンソサポートネットワーク」構築

大分スーパーサイエンスコンソーシアム
【OSSコンソ】

連携高校の理科・数学教員

教材開発

人材育成

地域連携

県教委・大学・企業等

- ・世界で活躍する科学者を招待しての「科学講演会」
- ・最先端科学技術に触れる2泊3日の「県外科学研修」
- ・科学の魅力を体験する「OSSフェスタ」
- ・1年生「グループ別課題研究」・2年生「個人グループ研究」
- ・国際性を育成する「OSS海外科学研修」
- ・科学の魅力を全県に発信する「成果発表会」 など

理科・数学に興味・関心のある高校生

ーグローバル人材育成推進事業ー
平成28年度 グローバルリーダー育成塾 第1回(開講式) 実施要項

- 1 目的 将来の日本を支える人材として世界へ挑戦する気概やリーダーとしての素養の育成に向けて、世界で活躍する講師による講演や意見交換を実施することにより、将来の目標を明確にし、高い進路意識の醸成を図る。
- 2 主催 大分県教育委員会
- 3 期 日 平成28年5月22日(日)
- 4 会 場 県庁舎新館大会議室
- 5 対象生徒 日本を支え、世界に挑戦する気概と資質を有する高校1、2年生100名程
- 6 引率教員 参加校の教員(1校あたり1~2名)
教頭、進路指導主任、学年主任など
- 7 生徒費用 バス代1人あたりの半額程度(県教育委員会が別途定めるバスルートによる貸し切りバスを利用する者)

8 日 程

時 間	内 容	備 考
9:50 ~ 10:00	開会行事 大分県教育委員会挨拶	
10:00 ~ 11:20	基調講演「(仮)世界を支えるリーダーとは」 <講師> 株式会社村上憲郎事務所 代表 グーグル日本法人 元名誉会長 村上 憲郎 氏	
11:30 ~ 12:00	発表「スーパーグローバルハイスクールの取組について」 大分県立大分上野丘高等学校 SGH生徒代表	
12:00 ~ 12:50	昼食・休憩(昼食持参)	
12:50 ~ 14:30	テーマ別協議「私たちが考える大分県のグローバルプラン」 *協議グループ 6~8名×12グループ程度 *協議テーマ(2つから選択) ①「グローバル人材に必要な資質とは」 →高校生版大分県グローバル人材育成プラン ②「大分県の海外戦略」 →高校生版大分県海外戦略プラン	
14:40 ~ 15:40	発表・提言「私たちが考える大分県のグローバルプラン」 *協議事項をまとめ発表[各グループ×4~5分] <講評> 大分県知事 広瀬 勝貞 氏	
15:40 ~ 15:50	閉会行事 ・講評 ・参加生徒代表挨拶 ・アンケート記入	

- 9 駐 車 場 貸し切りバス以外、一般外来者用駐車場の利用はできませんので、駐車場は各自で確保してください。

— グローバル人材育成推進事業 —

グローバルリーダー育成塾 [2016] 年間スケジュール

- 1 目的 将来の日本を支える人材として世界へ挑戦する気概やリーダーとしての素養の育成に向けて、世界で活躍する講師による講演や意見交換を実施することにより、将来の目標を明確にし、高い進路意識の醸成を図る。
- 2 内容 下記に示す、年間5回の講座を実施する。
- 3 対象 日本を支え、世界に挑戦する気概と資質を有する高校1、2年生100名程度。

◎開催及び塾生募集に当たっての留意点

- 1、2年生の合同での開催とします。(グループ協議等については、1、2年生混合での実施を想定しています。)
- 5回の講座の中で、グローバルリーダー育成(人文科学系)とグローバルサイエンティスト育成(自然科学系)2分科会に分かれて実施をする場合もあります。
- 昨年までの次世代リーダー育成プログラムと異なり、単年度で完結する事業となります。
- 連続して5回の講座に参加すること推奨しますが、各回(単一の回)の参加も認めます。
- 昨年度実施の次世代リーダー育成プログラムの内容と一部重複がある場合があります。
現2年生で昨年上記プログラムに参加した生徒の申込については、各プログラムの内容をご確認の上、申込願います。
(昨年度次世代リーダー育成プログラムに参加した生徒の申込を妨げるものではありません。)

第1回(開講式)

- 1 目的 一流講師の考え方に触れ、グローバルリーダーとしての意識の涵養を図る。
- 2 期日 平成28年5月22日(日)
- 3 会場 県庁舎新館14F大会議室
- 4 プログラム内容

○ 講 演	「世界を支えるリーダーとは」 〈講 師〉 グーグル日本人元名誉会長 村上 憲郎 氏
○ 発 表	「スーパーグローバルハイスクールの取組」
○ テーマ別協議	「私たちが考える大分県のグローバルプラン」
○ 発 表	「私たちが考える大分県のグローバルプラン」 〈講 評〉 大分県知事 広瀬 勝貞 氏

第2回

- 1 目的 人文科学系、自然科学系に分かれ、それぞれの分野について課題探究を深める。
- 2 期日 平成28年6月25日(土)
- 3 会場 大分県教育センター
- 4 プログラム内容

○ 講 演	「(仮)世界の課題解決のために(日本の私ができること)」 〈講 師〉 国際協力関係機関職員(予定)
○ ワークショップ	分科会「世界の諸課題の課題解決の方策」(グループ別で実施) 〈講 評〉 国際協力関係機関職員

第3回

1 目的 政治、経済の最前線に触れ、リーダーに求められる力を養う。

2 期日 平成28年8月頃[2泊3日](予定)

3 会場 東京

4 プログラム内容

○ 講演	【人文科学系と自然科学系の2分野】「(仮)大学における学術研究と人材育成」 〈講師〉 大学教授(予定)	〈1日目〉
○ 討論会	「(仮)私たちに必要なもの、私たちがすべきことを考える」 〈助言者〉 東京大学在籍中の大学院生・大学生	
○ 講演 (体験学習)	「(仮)世界に羽ばたくリーダー」 〈講師〉 企業代表者・省庁関係者(大分県出身)	〈2日目〉
○ 見学・討議	「(仮)企業リーダーの視点を体験しよう(コース別)」	
○ グループ討議	「(仮)私たちに何ができるのかを考える」	
○ 講話	「将来の日本を担う君たちへ」 〈講師〉 大分県出身の省庁関係者(予定)	〈3日目〉
○ 訪問・見学	「高等教育の最前線に触れる(東京大学訪問等)」	

第4回

1 目的 異文化理解についての多面的思考、複眼的視野、及びコミュニケーション能力の向上を図る。

2 期日 平成28年11月6日(日)

3 会場 県庁舎新館14F大会議室

4 プログラム内容

○ 講演	「(仮)大分から世界の問題を考える～地元で活躍できるグローバル人材とは～」 〈講師〉 県内大学教授(予定)
○ グループ討議	「(仮)異文化理解に必要なこと。ここが変だよ日本人！ ※英語での協議を予定」 〈助言者〉 海外からの留学生、外国語指導助手

第5回(閉塾式)：グローバルミーティング

1 目的 グローバルリーダーとして、世界へ挑戦する気概を育成する。

2 期日 平成28年12月10日(土)

3 会場 県庁舎新館14F大会議室

4 プログラム内容

○ 協議	「(仮)大分と世界の未来」 〈サミット形式による高校生会議〉 県内高校生、留学生、ALT等参加
○ 総括講演	「(仮)大分から世界へ」 〈講師〉 国際関係大学教授